

【施策01】 地域コミュニティ・学び

- ◆展開方向01：地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
- ◆展開方向02：まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
- ◆展開方向03：歴史遺産の継承と学びの充実
- ◆展開方向04：スポーツに親しむ機会の充実

展開方向01	1 コミュニティ助成事業費	10
	2 車座集会事業費	11
	3 みんなの尼崎大学事業費	12
	4 市民運動推進事業費	13
	5 市民活動情報発信事業費	14
	6 あまがさきチャレンジまちづくり事業費	15
	7 あまがさき市民まつり事業補助金	16
	8 尼崎市社会福祉協議会補助金(債務負担分を含む。)	17
	9 地域資源情報公開システム事業費	18
	10 特定非営利活動促進事業費	19
	11 中央地区学びと活動推進事業費	20
	12 小田地区学びと活動推進事業費	21
	13 大庄地区学びと活動推進事業費	22
	14 立花地区学びと活動推進事業費	23
	15 武庫地区学びと活動推進事業費	24
	16 園田地区学びと活動推進事業費	25
	17 学社連携推進事業費	26
	18 成人教育事業費	27
	19 PTA連合会等補助金	28
	20 図書館行事事業費	29
	21 障がい者等サービス事業費	30
	22 図書等購入事業費	31
	23 図書館サービス網関係事業費	32
	24 資料整理事業費	33
展開方向02	25 姉妹・友好都市交流関係事業費	34
	26 国際交流事業補助金	35
	27 尼崎市文化振興財団補助金等	36
	28 郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト事業費	37
	29 文化団体育成補助金	38
	30 若者の夢創造・発信事業費	39
	31 まちの魅力発信事業費	40
	32 尼子騒兵衛作品等資料収集・調査・活用事業費	41
展開方向03	33 文化財保護啓発事業費	42
	34 歴史博物館資料保存事業費	43
	35 歴史博物館展示事業費	44
	36 歴史博物館教育普及事業費	45
	37 あまがさきアーカイブズ推進事業費	46
	38 田能史料館展示事業費	47
	39 田能史料館教育普及事業費	48
展開方向04	40 「スポーツのまち尼崎」促進事業費	49
	41 オリンピックを契機としたスポーツ推進事業費	50
	42 ふれあいスポーツ推進事業費	51
	43 生涯スポーツ・レクリエーション事業費	52
	44 市民スポーツ振興事業費	53
	45 スポーツ大会事業費	54

46 学校開故事業費	55
47 体育協会等補助金	56

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	コミュニティ助成事業費	1E1D	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	コミュニティ助成事業実施要綱			展開方向 01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	—		
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	北 明德、相馬 美津子、鳥生 浩二 中村 直樹、富田 聡一郎、藤川 明美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業による助成金(コミュニティ助成事業)を活用した、地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図るための補助事業であり、補助金交付決定団体に対して補助金を交付する。
事業概要	地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図ることを目的とする宝くじの社会貢献広報事業による助成金を活用し、自治会等が行うコミュニティ活動に必要な設備等の整備に対して補助を行う。
実施内容	○武庫地域課 パークタウン西武庫自治会が地域交流事業を実施する際に使用するやぐらの購入費用に対して補助を行った。 パークタウン西武庫自治会は、近隣地域の活性化を目的として、毎年様々なイベントを実施している。従来使用していた鉄パイプ式やぐらは、業者に委託しないと組立が不可能であり、また、老朽化が進んでいることから助成を行った。 補助金交付額:2,500,000円

②事業成果の点検

目標指標	申請件数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	件			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	2	令和2年度	6	令和3年度	6
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>○武庫地域課 新型コロナウイルス感染症対策のため当初活用を予定していたイベントは中止となったが、他のイベント時にやぐらお披露目会を実施し、ステージのような形で活用することができた。また、新しいやぐらは地域住民でも組み立てられることから、様々なイベントで活用できるようになり、地域コミュニティ活性化の契機となった。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>各種広報や各地域振興センターを通じ、自治会等に本事業の周知を行っていくとともに、地域担当職員が地域の様々な主体と顔の見える関係づくりを進める中で、本助成事業を必要とする団体へとつないでいく。</p>										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	2,500	5,000	2,500	2,500	
負担金補助及び交付金	2,500	5,000	2,500	2,500	コミュニティ助成事業補助金
人件費 B	719	1,186	849	383	
職員人工数	0.11	0.17	0.11	0.05	
職員人件費	719	1,186	849	383	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	3,219	6,186	3,349	2,883	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	2,500	5,000	2,500	2,500	コミュニティ助成事業収入
一般財源	719	1,186	849	383	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	車座集會事業費	1E1F	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成15年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民(市内在住、在勤、在学者)と市長が直接対話する機会を持つことで、市民と行政の相互理解を図るとともに、市民参加のまちづくりを積極的に進めることを目的としている。					
事業概要	市民の市政への関心を高めるとともに、まちづくりに関する情報の共有化を推進するため、市民と市長が直接意見交換を行う。					
実施内容	1 実施手法 次の3つの手法で実施 ①「フリートーク型」: テーマ、対象者を特定せず参加者を公募 ②「テーマ型」: テーマを設定した上で参加者を公募又は指名 ③「ターゲット型」: 対象者を特定して参加者を公募又は指名					
	2 令和3年度実施実績					
		実施日	方法	テーマ	開催場所	参加者
		12月6日	ターゲット型	外国籍住民支援者の皆さんと	市役所	8人
実施内容	3 過去の実施結果					
		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	実施回数	①フリートーク型	1回	0回	0回	
		②テーマ型	2回	0回	0回	
		③ターゲット型	1回	0回	1回	
計		4回	0回	0回		
	参加人数	70人	0人	8人		

②事業成果の点検

目標指標	車座集會の参加者人数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	70	令和2年度	0	令和3年度	8
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・コロナ禍の状況を踏まえ、令和3年度は、対象者を「外国籍住民支援者」と特定し、参加者を指名した上で、感染対策を徹底して実施した。 ・コロナ禍の状況なども踏まえ、より安全で効果的な事業運営を図っていく必要がある。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) より安全で、効果的な事業運営を行うため、対象者を特定した上で、参加者を公募あるいは指名することを基本とし、対象者によってはオンラインでの開催も検討していく。										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	42	40	11	36	
報償費				16	手話等謝礼
需用費	40	40	11	11	消耗品
使用料及び賃借料	2			9	会場使用料
人件費 B	1,523	1,788	1,313	1,303	
職員人工数	0.23	0.23	0.17	0.17	
職員人件費	1,523	1,788	1,313	1,303	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	1,565	1,828	1,324	1,339	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	1,565	1,828	1,324	1,339	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	みんなの尼崎大学事業費	1E11	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成26年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				

局	総合政策局	課	生涯、学習！推進課	所属長名	寺沢 元芳
---	-------	---	-----------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域活動を担う“人づくり”に向け、みんなの尼崎大学がプラットフォームとなり、市民の主体的な学習や活動を支援することにより、学びを通じて地域や社会に興味を抱き、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりに取り組む。また若年層を中心に、身近な地域への愛着や主体的な地域への関わりといったシチズンシップを育てる。
事業概要	学びを通じて地域や社会に興味を抱き、また、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりを進める。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まちで活動したい人の相談・交流の場「みんなの相談室」を12回(453人)、市内の学びの場をめぐる「オープンキャンパス」をオンラインを含め3回(115人)開催した。また、各地域振興センターにおけるプラットフォームの定期開催が広がる中で、担当者同士が情報共有を図る「プラットフォーム×プラットフォーム」を開催した。その他庁内間の連携促進を目的とし、庁内向けに「みんなの相談室」を開催したほか、これまでに共催・連携した部署の尼大活用事例を紹介した。 ・あまがさきキューズモールにて、「尼大新歓！」と称し市内15団体による団体紹介・ワークショップを行った。 ・まちの人が生徒や先生となる「みんなのサマーセミナー」は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催となったが、実行委員会とともに協働で運営・実施した。(44講座、最大視聴者数111人) ・まちの課題解決を疑似体験するカードゲーム「ATTF2」を、地域団体等(8ヶ所)及び市内中学校(7校)で実施し、併せて、自治のまちづくりの理念の啓発の担い手となってもらうなど、継続的な活用に繋がるようにカードの配付を行った。 ・その他、学生証発行、ウェブサイト等での学びに関する情報発信、多様なテーマの事業(小田南公園について学ぶ講演会、マジョリティ特権講座、コロナ禍での子ども食堂に関する学習会等)に協力するなど様々な取組を行った。

②事業成果の点検

目標指標	「生涯学習活動が地域活動につながった」と感じている市民の割合							単位	%	
目標・実績	目標値	13.1	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	7.1
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの相談室については、尼崎大学に関わる人の裾野を広げるため、令和2年度に引き続き2つの生涯学習プラザ(大庄北、園田東)に出張し開催した。今後においても、みんなの尼崎大学と生涯学習プラザとのつながりを強化するとともに、関係部局と連携しながら、みんなの尼崎大学というツールを活用した新たな取組を推進していく必要がある。 ・令和3年度末時点でみんなの尼崎大学の学生証発行者は1,167人を超え、みんなのサマーセミナーも7回目(うち2回は新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催)の開催となるなど、着実に実績を重ねてはいるが、一方で、令和3年度実施の市民意識調査における「みんなの尼崎大学」を知っている市民の割合は17.9%と決して高くはない。尼崎大学に関わる人の固定化を懸念する声もあり、今後においても、庁内外の関わりを輪を広げる工夫が必要である。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、出張相談室を園田地域課と共催し、園田東生涯学習プラザでの定期開催に向けたサポートを行う。また、地域振興センターや関係部局と連携した取組を行い、行政と市民が関わる機会の拡大を図る。併せて、令和3年度に引き続き、各地域振興センターのプラットフォームの担当職員との定期的な情報交換を行う。 ・より多くの職員が尼崎大学を通して、市民と関わる機会を確保できるよう、本庁前の橋公園における公園活用の社会実験と連携した出張相談室の開催や、「尼大新歓！」などへの職員の参加手法を検討する。 ・また、新たな活動人口の獲得を目指し、当課職員が人手を求めている地域団体の活動を体験し、レポートをウェブサイトに掲載するなど情報発信の方法を検討する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	9,930	8,108	5,402	5,921	
報償費	60	27			講師謝礼
需用費	529	272	185	272	消耗品費・印刷費
委託料	6,326	5,101	5,101	5,101	みんなの尼崎大学支援業務委託
使用料及び賃借料	2,626	2,650			授業検索ページシステム委託料
その他	389	58	116	548	みんなのサマーセミナー負担金等
人件費 B	22,314	22,653	22,453	22,411	
職員人工数	2.60	2.61	2.60	2.59	
職員人件費	20,363	20,288	20,077	19,852	
嘱託等人件費	1,951	2,365	2,376	2,559	
合計 C(A+B)	32,244	30,761	27,855	28,332	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	32,244	30,761	27,855	28,332	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	市民運動推進事業費	1E1M	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例等			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和38年度		
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
局	総合政策局	課	協働推進課、中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	西田 真弓、北 明德、相馬 美津子、鳥生 浩二、中村 直樹、富田 聡一郎、藤川 明美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生活環境を改善し、住み良いまちづくりを促進するために、そこに住み・集い・働く人々が、わがまち意識を持ち、自発的に事業に参加する状態を目指すもの。
事業概要	市民の創意と参加によって明るく住み良く豊かなまちを目指すため、市民運動を総合的に推進し、尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例をもとに、市民運動推進委員会、市民運動各地区推進協議会事業への支援及び10万人わがまちクリーン運動を実施する。
実施内容	<p>1 市民運動推進委員会総会(決算額:64千円 需用費等) 当該委員会は、市長と構成団体から選出された1名が共同代表を務め、各地区推進協議会、各種団体・関係行政機関72団体、学識経験者2名で構成し、市民の創意と参加により明るく住みよく豊かなまちを目指し、市民運動を総合的に推進する。 【令和3年度総会実績】開催日:令和3年6月28日(月) 場所:中央北生涯学習プラザ 出席者数:38人</p> <p>2 市民運動各地区推進協議会事業補助(決算額:3,878千円 予算額:@1,200千円×6地区) 市民運動を効果的に推進するため、地域の各種団体で構成されている市民運動各地区推進協議会が実施する事業に対して補助する。</p> <p>3 10万人わがまちクリーン運動(決算額:433千円 委託料等) 市制80周年を契機に、市・市民・事業者が一体となり取り組んだ、全市一斉クリーン運動とクリーン月間を継続して実施することにより、市民自らの手でまちの美化を推進するとともに、市民のわがまち意識の醸成を図る。 【令和3年度実績】全市一斉クリーン運動については、各地域の可能な範囲で清掃活動を実施</p>

②事業成果の点検

目標指標	10万人わがまちクリーン運動参加者人数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	26,937	令和2年度	—	令和3年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、委員会で決めた取組テーマ(自転車マナーの向上)に基づいた取組を実施した他、市民運動推進委員会総会の場において尼崎市の全市域にわたる時事的な取組について紹介することで、活発な活動へつながるきっかけづくりにも取り組んだ。 ・市民運動各地区推進協議会では、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、感染防止に取り組みつつ工夫して実施した事業もあったが、やむを得ず実施を見送る事業も多かった。 ・令和3年度の全市一斉クリーン運動は、一律の中止とはせず、各地域において可能な範囲で清掃活動を実施した。また、クリーン月間は継続的に実施し、各自が自宅周辺など身近な範囲で清掃活動に取り組んだ。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民運動推進委員会としては、構成団体のネットワークを活かしながら、各団体の意見をもとに設定した取組テーマに沿って全市一体となって取り組んでいく。 ・市民運動各地区推進協議会事業補助については、事業が多数中止となり、地区によっては戻入が発生している。地区ごとに実施した、コロナ禍でも取り組める工夫やコロナ禍ならではの取組などを横展開できるよう他地区に共有し、今後の取組につなげていけるよう支援する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	7,868	3,968	4,375	8,081	
需用費	182	192	150	76	清掃に係る消耗品等
委託料	483		341	796	クリーン運動収集委託
使用料及び賃借料	3	3	6	9	総会等会場使用料
負担金補助及び交付金	7,200	3,773	3,878	7,200	事業補助金
人件費 B	4,795	4,353	4,324	4,292	
職員人工数	0.63	0.56	0.56	0.56	
職員人件費	4,795	4,353	4,324	4,292	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	12,663	8,321	8,699	12,373	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	7,375	3,786	3,878	7,200	市町村振興協会市町交付金
一般財源	5,288	4,535	4,821	5,173	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	あまがさきチャレンジまちづくり事業費	1E1P
根拠法令	あまがさきチャレンジまちづくり事業補助金交付要綱	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 平成17年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	協働推進課、中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	西田 真弓、北 明德、相馬 美津子、鳥生 浩二、中村 直樹、富田 聡一郎、藤川 明美
---	-------	---	---	------	--

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域で活動する団体・グループが自立して活動できるよう支援を行うことによって地域活動の活性化を図り、協働のまちづくりを推進する。
事業概要	「地域をよりよくするため市民自ら考え、力を合わせて実施する活動」で公益的なものに対し補助を行うことにより地域社会の連帯を深め、まちづくりの推進を図る。
実施内容	<p>地域の課題解決に向けて、市民主体の団体が取り組む公益的な事業について支援を行う。</p> <p>1 地域コミュニティ活動支援事業補助(補助金交付額2,870千円(決算額2,207千円)32事業申請、31事業採択) ・対象事業:市内1地区で行う公益的な事業 補助金額:補助対象経費の8/10以内、上限10万円</p> <p>2 あまらぶチャレンジ事業補助(補助金交付額845千円(決算額745千円)7事業申請、4事業採択) ・対象事業:2つ以上の地区にまたがって行う公益的な事業 ・補助金額:1年目 上限30万円(補助対象経費の10/10以内)、2年目 上限15万円(補助対象経費の5/10以内)、3年目 上限9万円(補助対象経費の3/10以内)</p> <p>3 あまらぶチャレンジ事業ジュニアコース(補助金交付額349千円(決算額113千円)20事業申請、14事業採択) ・対象事業:市内の高校生グループが行う公益的な事業 補助金額:補助対象経費の10/10以内、上限5万円</p> <p>4 地域活動サポーター事業(活動実績:計65回(報償費5,000円/回)) ・地域コミュニティ活動に知識と経験を有するサポーター(公益団体代表等)を地域へ派遣し、地域振興センターと連携して活動団体等へ指導・助言を行うとともに、活動団体間のネットワークの形成を図る。</p>

②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(地域コミュニティ活動支援事業補助、あまらぶチャレンジ事業補助) (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	団体	
目標・実績	目標値	55	達成年度	毎年度	令和元年度	57	令和2年度	46	令和3年度	59
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・令和2年度と比較すると申請団体数は、地域コミュニティ活動支援事業は横ばい、あまらぶチャレンジ事業は2団体増加した。また、あまらぶチャレンジ事業ジュニアコースは、コロナ禍において学校行事等が縮小されたことで、課外活動に参加したいと思う生徒が増えたこと等により10団体と大幅に増加した。</p> <p>・より身近に感じられるよう地域活動支援コーディネーターから地域活動サポーターに名称変更を行い、活動内容についても、市民が参加する事業への指導・助言を加えたことにより、制度活用が図られ、派遣回数が増加した。</p> <p>・不採択となった事業や補助期間が終了した事業についても、活動が継続できるよう、補助金交付以外の方法で、活動を支援していく必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・不採択となった事業や補助期間が終了した事業についても、今後事業が実施できるよう、地域担当職員等が寄り添い、助言等も併せて行っていく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	4,766	3,778	3,882	6,378	
報償費	415	545	625	600	地域活動サポーター報償費等
需用費	76	73	70	75	浄書印刷等
使用料及び賃借料	17	19	56	55	ワークショップ会場費等
負担金補助及び交付金	4,222	3,106	3,065	5,600	
その他	36	35	66	48	あまらぶジュニア保険料等
人件費 B	10,410	11,537	10,504	12,614	
職員人工数	1.29	1.50	1.37	1.67	
職員人件費	9,965	11,387	10,314	12,414	
嘱託等人件費	445	150	190	200	あまらぶチャレンジ事業委員報酬等
合計 C(A+B)	15,176	15,315	14,386	18,992	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	1,825	1,764	858	2,000	市町村振興協会市町交付金
一般財源	13,351	13,551	13,528	16,992	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	あまがさき市民まつり事業補助金	1E1R	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	あまがさき市民まつり事業補助金交付要綱			
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成25年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			

局	総合政策局	課	生涯、学習！推進課	所属長名	寺沢 元芳
---	-------	---	-----------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市制の誕生を祝う趣旨で始まった市民まつりが、市民に親しまれるとともに、市民まつりの企画運営の中で市民及び市内で活躍する団体が互いにコミュニケーションを深めながら、特定の地域や団体にとられない活動が活発になっている状態を目指す。
事業概要	安定的な開催の支援のため尼崎市民まつり協議会への補助を行う。
実施内容	市民まつりの実施に当たっては、地域団体の代表者等で構成する尼崎市民まつり協議会実行委員会を組織し、各事業部会に分かれて企画・運営を行った。協議会の事務局については、市民と市の協働で担っている。 (事業部会構成) ステージ部会、子どもひろば部会、出店部会、展示部会、だんじり部会、広報部会、警備安全部会、あまうえる部会、自然環境交流ひろば部会 令和3年度については、現地開催に向けて検討・準備を行ってきたが、開催1か月前時点において、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

②事業成果の点検

目標指標	市民まつりの参加者数(来場者数)(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	60,000	達成年度	毎年度	令和元年度	68,000	令和2年度	— (開催中止)	令和3年度	— (開催中止)
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>・令和3年度については、開催1か月前時点で開催中止となってしまったが、会場内の飲食禁止や、来場者同士が交差しない動線の確保など、実施に向けた開催方法の議論や準備ができた。</p> <p>・3年ぶりとなる現地開催に向け、来場者の安全確保を第一に考え、開催時点での新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえた、令和3年度に実施予定だったものとは異なる開催方法の検討を進める必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に留意し、テント同士の間隔確保や来場者のソーシャルディスタンスの確保などの感染症対策を行い、以前と比べ規模を縮小した開催方法を検討しながら、10月2日(日)に、市役所周辺及び中央生涯学習プラザにて市民まつりを開催する。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	2,500	0	200	2,500	
負担金補助及び交付金	2,500		200	2,500	開催1か月前時点において、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため、その時点で発生している経費の半分を補助。
人件費 B	12,048	13,370	11,737	11,420	
職員人工数	1.38	1.72	1.52	1.29	
職員人件費	10,808	13,370	11,737	9,888	
嘱託等人件費	1,240			1,532	
合計 C(A+B)	14,548	13,370	11,937	13,920	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	14,548	13,370	11,937	13,920	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	尼崎市社会福祉協議会補助金(債務負担分を含む。)	1E1W	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市社会福祉法人助成条例第4条			展開方向
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	昭和26年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
目	61 市民活動推進費			

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市社会福祉協議会(市社協)は本市における地域福祉、地域自治の担い手として重要な役割を果たしており、市が支援することで経営基盤を安定させ活動の充実を図ることにより、地域福祉、地域自治のより一層の推進を目指す。
事業概要	地域自治活動及び地域福祉活動の推進を図るため、市社協に補助金を交付し、自主財源に乏しい本部、支部社協の運営を側面的に支援するとともに、社会福祉連絡協議会(連協)、福祉協会(単組)の活動を助成する。
実施内容	<p>市社協に対し、次の経費を助成する。</p> <p>1 地域自治活動及び地域福祉活動に係る人件費(決算額:117,550千円) 理事長、常務理事、本部・支部職員22人の人件費を助成する。</p> <p>2 地域自治活動に係る事務事業費(決算額:27,832千円) 事務事業費、支部運営費、連協・単組活動費、社協会館運営費、地域広報活動推進補助費を助成する。</p> <p>3 会館移転関係経費(決算額:73,425千円) 社協会館移転に係る改修工事費及び工事管理費の一部を助成する。(移転先施設 旧口腔衛生センター)</p> <p>【地域自治活動及び地域福祉活動に係る実施事業(支部・連協・単組含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市・市社協・連協・単組間連絡調整 ・善意銀行関連業務 ・あんしん通報事業への協力 ・各種委員推薦に係る業務 ・老人給食事業 ・コミュニティ活動 ・日赤社資募集事業 ・地域高齢者福祉推進事業 ・福祉活動 ・共同募金、ともしびの箱募金 ・高齢者等見守り事業 ・加入促進に係る取組 等

②事業成果の点検

目標指標	市社協加入率(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	%	
目標・実績	目標値	60.0	達成年度	令和9年度	令和元年度	49.3	令和2年度	47.4	令和3年度	46.1
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協は、地域自治機能と地域福祉機能の両面を有し、本市の地域自治活動や地域福祉活動などにおいて、中核的な役割を担っており、市にとって欠かすことのできない団体である。 ・新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、市社協は感染対策を徹底し、事業を実施している。 ・加入率は減少傾向となっているが、市内への転入者に対し市社協の案内チラシを配布するなど、加入促進の取組を継続して行っている。 ・市社協の未加入世帯や、単組のない地区等に対する情報発信、地域コミュニティのつながりの希薄化などが課題となっている。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政広報活動に対する補助金(地域広報活動推進補助費)については、改めて各地域の実態調査を行い、補助金のあり方について検討する。 ・加入率の向上に向けては、各地域に応じた地域活動の情報誌や加入促進のチラシなどの広報物を市社協と連携して作成・配布を行う。 ・社協会館の移転については、令和5年4月の供用開始に向け、改修工事の円滑な進行管理を行う。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	114,397	121,667	218,807	257,251	
負担金補助及び交付金	114,397	121,667	218,807	257,251	令和2年度は移転先施設の設計費、令和3・4年度は移転先施設の改修工事費が含まれている。
人件費 B	4,464	3,498	4,324	4,292	
職員人工数	0.57	0.45	0.56	0.56	
職員人件費	4,464	3,498	4,324	4,292	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	118,861	125,165	223,131	261,543	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債		4,600	69,700	105,100	一般単独事業債
その他					
一般財源	118,861	120,565	153,431	156,443	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	地域資源情報公開システム事業費	1E22	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			令和2年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設等の地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステムを運用することにより、市民サービスの向上を図るとともに、市・尼崎市社会福祉協議会(市社協)・地域活動の担い手など各主体間における情報共有を推進する。
事業概要	福祉、社会教育関係等の地域資源の情報を公開し、エリアごとに検索できるシステムを運用する。
実施内容	<p>○地域情報共有サイト「あましえあ」の運用(決算額:4,950千円 委託料)</p> <p>1 サイト概要 地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設、市民活動団体等の幅広い地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステムを運用することにより、地域資源の可視化及び市民サービスの向上を図る。 また関係者専用サイト内のみで取り扱う地域情報や活動記録を活用することで、市、市社協等の関係者間の情報共有を推進する。</p> <p>2 実施内容 サイトの運営管理及び関係者による地域資源情報のメンテナンス(登録・更新・削除)の補助等を行う。 情報共有や活用が推進されるよう効果的な運用を図る。</p>

②事業成果の点検

目標指標	—(適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)								単位	—	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスの向上を図るとともに、地域住民や地域活動の担い手、関係部局等との情報共有を進めるため、地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設等の地域資源情報を分野やエリアごとに検索できる地域情報共有サイト(あましえあ)を一般公開した。 ・地域活動の担い手がより効果的・効率的に活用できるよう、また、市民にとって新たな情報収集の手段となるよう、適切に運用していく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者の地域資源情報の登録、利用等を引き続きサポートし、関係者間の情報共有が活発に行われるよう、運用ルールを整理し周知するとともに、活動記録や掲示板、お知らせ機能の活用を推進する。 ・地域担当職員等が地域の活動団体との関係づくりや相談業務に活用し、新たな地域課題の抽出にもつなげていく。 ・登録された地域資源情報をもとに、地区ごとの特性や活動状況を関係者と分析していくことでまちづくりの推進につなげていく。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	8,690	4,950	4,950	
委託料		8,690	4,950	4,950	システム運用保守業務委託
人件費 B	0	0	2,162	2,166	
職員人工数			0.28	0.28	
職員人件費			2,162	2,146	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	0	8,690	7,112	7,096	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金		8,690			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他			4,464		市町村振興協会市町交付金
一般財源	0	0	2,648	7,096	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	特定非営利活動促進事業費	1E23
根拠法令	特定非営利活動促進事業補助金交付要綱	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 令和2年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市内におけるNPO法人の社会貢献、地域の課題解決や魅力向上に資する取組の促進を目指す。						
事業概要	NPO法人が行う特定非営利活動事業に共感し、応援を行いたいと思われた市民や事業者から寄せられた寄付金の範囲内の額を、特定非営利活動の促進のため、市がNPO法人に交付する。						
実施内容	地域の課題解決に向けて、NPO法人が取り組む公益的な事業について支援を行う。 ・主たる効果が尼崎市内で生じる、または、主に尼崎市民を対象とした公益的な事業を行うNPO法人に対し、市民等からの寄付金額を上限に交付する。 ・寄付金の年度間調整を行うために、特定非営利活動促進基金を設置している。						
	令和3年度実績						
	採択事業数	事業申請額	寄付件数	寄付金額 ①	前年度繰越額 ②	交付可能額 ③=①+②	交付額
	13事業	15,921千円	139件	2,592千円	1,012千円	3,604千円	2,999千円
※交付額を超過した交付可能額は、翌年度以降の活用を予定している。							

②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	団体		
目標・実績	目標値	35	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	10	令和3年度	13
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・申請団体数は、前年度より増加したものの、目標値を下回った。 寄付金額については、効果的な広報手法の検討についてサポートなどを行ったものの、NPO法人によって寄付金額に差があることに加え、寄付金総額は前年度より減少となった。 そのため、引き続き制度周知に努めるとともに、資金調達幅を広げるなど、新たな方策に取り組む必要がある。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・申請団体増加に向け、新たに市報等を活用するなど、積極的な制度周知に取り組んでいく。 ・令和4年度からクラウドファンディング及び企業版ふるさと納税制度の活用を始めることから、NPO法人ごとに適した形でこれらの資金調達手段を選択・活用するとともに効果的な広報を行うことで、応援者の増加につなげられるよう、サポートを行っていく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	3,489	3,011	3,761	
需用費		12	12	11	消耗品費
負担金補助及び交付金		3,477	2,999	3,750	特定非営利活動促進事業補助
人件費 B	0	2,176	3,475	3,909	
職員人工数		0.28	0.45	0.51	
職員人件費		2,176	3,475	3,909	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	0	5,665	6,486	7,670	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他		3,477	2,999	3,750	特定非営利活動促進基金繰入金
一般財源	0	2,188	3,487	3,920	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	中央地区学びと活動推進事業費	1E2Q	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等			
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			

局	総合政策局	課	中央地域課	所属長名	北 明德
---	-------	---	-------	------	------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：人権推進講座、オピニオンリーダー研修、平和学習推進事業等、11事業 3,069人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：子どもふれあいスクール事業、子育て講座等、12事業 565人 ・生涯学習推進事業：市民大学、リクエスト講座、日本語よみかき学級、4事業 1,836人 ・地域力創生事業：地域・現代学講座、あまがさきげんき講座等、15事業 1,463人 ・市民参加・交流・連携推進事業：地域交流事業、ふれあい学級事業等、18事業 2,893人 ・尼崎学びのサポート事業：教育支援室「サテライト教室」、1事業 163人 ・阪神尼あんしんまちづくり事業：迷惑駐輪・不法駐車対策(5回実施)、中央地区防犯パトロール9回実施)、中央ぶらぶら通信の発行 発行回数：3回 ・地域予算事業：地域の勉強会の開催(3回、98人)、こどもの居場所確保に向けた「たけやキッズパーク」の実施(7回、延べ96人)、各種団体間の連携強化に向けた協議会「竹谷小学校区いどばたかいぎ」の実施(1回、30人)、地域コミュニティの場「GO-5うめ！」の実施(12回、延べ275人)、福祉会館PRリーフレットの発行(開明地区会館)

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	17,501	令和2年度	7,374	令和3年度	10,488
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止の観点から、一部講座等の中止や縮小を行ったが、前年度と比べ参加者数を約3,000人増加できた。 ・新たなプラザ利用者(特に若者世代や子育て世代)を獲得し、関係性を深めていくとともに、既存団体との交流促進や地域課題への参画を促していくことを目的として、ターゲット別の新規講座等を企画・実施した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が活躍する場を創出し、地域とともに学ぶ場を増やすことを目的に、地域住民や団体の持ち込み企画を中央地域課事業として実施していく。 ・各団体における課題意識を共有し、課題解決や対応準備を行うきっかけとなるよう、地域の意向に沿った勉強会の開催支援、各小学校区の好事例に関する情報提供等を実施していく。 ・地域課題等を協議するプラットフォームとして「竹谷いどばたかいぎ」と「うめのおしゃべり会」を設置しているが、より協議を活発にするため、協議対象を中央地区全体に拡げ、多様な地域住民が参画できるよう、協議の場のリニューアルを検討していく。 ・地域コミュニティの仕組みづくりを推進する、より効果的な予算のあり方等について検討する。 										

③事業費

(単位：千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	2,344	1,775	1,560	2,793	
報償費	1,428	1,023	1,006	1,671	講師等謝礼
需用費	903	623	419	856	広報紙印刷製本費等
使用料及び賃借料		114	114	115	ソフトウェア使用料、会場使用料
負担金補助及び交付金			4	100	あま咲きコイン
その他	13	15	17	51	レクリエーション保険料、旅費
人件費 B	42,536	43,510	44,301	34,266	
職員人工数	4.21	4.72	5.12	3.89	
職員人件費	30,190	35,021	39,537	29,817	
嘱託等人件費	12,346	8,489	4,764	4,449	
合計 C(A+B)	44,880	45,285	45,861	37,059	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	548	148	370	182	市民福祉振興基金、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	44,332	45,137	45,491	36,877	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	小田地区学びと活動推進事業費	1E2R
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	小田地域課	所属長名	相馬 美津子
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：ハートフルシネマ、平和パネル展など、71回 8,256人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：潮江子育て学級、小田夏祭りパート2など、99回 3,466人 ・生涯学習推進事業：小田市民大学、小田日本語よみかき学級など、144回 6,086人 ・地域力創生事業：ユース交流センターサテライト事業、『コロナに負けない体づくり』教室など、126回 4,422人 ・市民参加・交流・連携推進事業：おだらぶ土曜雑談会、市民企画講座など、9回 174人 ・地域情報誌発行事業「小田がまち版」発行回数9回 発行枚数のべ 23,400枚 ・中川地下道における自転車通行ルールの徹底に関する取組 防犯カメラ購入及び中川地下道看板修繕工事

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	9,331	令和2年度	12,693	令和3年度	22,404
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立尼崎小田高校と共催で、防災と看護医療をテーマに「小田夏祭りパート2」を実施し、参加者の防災意識などの向上に取り組んだほか、運営に携わった生徒のシチズンシップの醸成に寄与できた。また、「夏・冬の学びフェア」、「SDGsフェア」といったプラザ全館を使用したイベントを学校、企業、地域活動団体の協力を得て実施し、地域住民の学びと体験、活動の場を設けるとともに、地域への愛着の醸成に寄与できた。さらに、中川地下道の取組では、地域活動団体より地下道の名称を変更し、歩道であることを明確化させるといった提案があり、地域・学校・行政の協働により3か所全ての看板を修繕し、「中川地下歩道」となった。なお、プラザが地域活動の拠点であることを浸透させるために今後も引き続き取り組む必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小田夏祭りパート2」や「SDGsフェア」のように、今後も学校や地域活動団体が活躍できる場を多く設け、地域活動の活性化と参加者の学びと体験の機会を増やし、「小田地域に住んでいてよかった」、「地域のために何かしてみたい」と思えるような、学びと活動の循環につなげていくとともに、プラザが学びと活動の拠点であることを浸透させるために事業の実施及び情報発信に取り組む。 ・地域担当職員が地域との関係を築く中で、地域課題の発見や、地域発意の情報を聞き取り、学びと交流の場づくりのほか、地域、学校、行政の更なる連携強化に取り組む。 ・ユース交流や子育て支援等の様々な取組のサテライトとして、研修などにより地域担当職員の専門性を高める。 ・地域コミュニティの仕組みづくりを推進する、より効果的な予算のあり方等について検討する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	1,538	1,047	1,389	2,213	
報償費	874	435	485	888	講師謝礼
需用費	637	143	837	896	各種事業消耗品等
委託料		462			R2中川地下道交通量調査業務委託
使用料及び賃借料	19			9	会場使用料
その他	8	7	67	420	あま咲きコイン、レクリエーション保険等
人件費 B	33,759	36,163	34,458	56,367	
職員人工数	5.50	5.79	4.80	8.03	令和4年度から地域担当業務を小田地区学びと活動推進事業費に算入
職員人件費	30,667	33,029	33,359	54,268	
嘱託等人件費	3,092	3,134	1,099	2,099	
合計 C(A+B)	35,297	37,210	35,847	58,580	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	549	350	435	240	市民福祉振興基金、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	34,748	36,860	35,412	58,340	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	大庄地区学びと活動推進事業費	1E2S
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	大庄地域課	所属長名	鳥生 浩二
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：ハートフルシネマ、人権推進講座など 11回 2,022人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：子どもふれあいスクール、子育て講座など 16回 259人 ・生涯学習推進事業：リクエスト講座、市民大学教養講座など 53回 885人 ・地域力創生事業：地域現代学講座、生き方探究キャリア教育支援事業など 10回 305人 ・市民参加・交流・連携推進事業：生涯学習プラザまつり、やまびこ学級(阪神南くすの木学級) 6回 245人 ・地域発意のトンネルアート事業(琴浦通り(旧国道)高架下)：延べ30人 ・市民による地域情報誌の発行、魅力発見：延べ17人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	6,285	令和2年度	1,964	令和3年度	3,763
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域発意のトンネルアート事業(琴浦通り(旧国道)高架下) ・琴浦通り高架下のトンネルが暗くて怖いので、明るい雰囲気にしたという地域からの発意により、地域住民、地域団体・企業、中学校、行政による協働の取組として壁面に絵を描くことで、明るい雰囲気にし、地域連帯、地域への愛着の醸成に寄与した。 ・より多くの地域住民との間で気軽に提案や相談してもらえるような信頼関係を築くことができた。 ・職員が身構えてしまったり、逆にすべて請け負ってしまうのではなく、市民とともに考え取り組む姿勢が必要である。 ○市民による地域情報誌の発行、魅力発見 ・市民から募った編集委員により、地域のおすすめスポットや人などを紹介する地域情報誌の第1号を作成した。 ・プロセスを共有する参加者や取材先、冊子配布先との関わりのきっかけとなるなど多様な関わりが生まれた。 ・地域課からの提案で始まったため、業務の進め方等は常に悩みながら判断していた。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域発意のトンネルアート事業については、近隣町会から第二弾の提案が出ている。今後も地域の声をキャッチし、地域住民らによる地域課題解決のチャレンジを伴走していく。 ・市民による地域情報誌の発行、魅力発見については、編集委員を固定せずに、第2号に関わる人を募集する。完成した冊子は、職員が外に出る際のツールとして、参加した集まりで配付したり、地域のお店や事業所との接点づくり(取材、設置)に活用する。 ・地域コミュニティの仕組みづくりを推進する、より効果的な予算のあり方等について検討する。 										

③事業費

(単位：千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	1,099	1,099	1,265	2,045	
報償費	856	914	864	1,368	講師謝礼
需用費	237	135	393	454	事業用消耗品費
役務費	5	5	3	22	ボランティア保険料
使用料及び賃借料		41		51	会場使用料
その他	1	4	5	150	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	32,207	40,495	36,021	36,330	
職員人工数	2.76	3.60	6.20	6.25	
職員人件費	18,529	33,543	31,150	31,753	
嘱託等人件費	13,678	6,952	4,871	4,577	
合計 C(A+B)	33,306	41,594	37,286	38,375	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	315	269	295	240	市民福祉振興基金、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	32,991	41,325	36,991	38,135	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	立花地区学びと活動推進事業費	1E2T	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等			展開方向
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	立花地域課	所属長名	中村 直樹
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：平和パネル展 3回 401人、人権講座(外国人支援、障害者支援も人権推進事業として取り組む。映画会、日本語ボランティア養成講座、ひかり学級インクルーシブ講座等) 19回 256人、8団体 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：ウェルカムスタンプラリー 1回(9日間) 延べ 1,482人(参加施設12か所、実施イベント16件)、その他(子育て講座、子育てカフェ、夏休みオープンスクール等) 125回 1,276人 ・生涯学習推進事業：市民大学 13講座 285人 ・地域力創生事業：コロナに負けない体づくり事業等 97回 1,808人 ・市民参加・交流・連携推進事業：市民企画会議、立北まなびフェア等 14回 462人 ・地域予算事業：立花かいわい会 24回 375人(立花かいわい会をきっかけとして生まれた活動 15件)、ピバたちばなのマナビバ 30講座 962人、その他(ICHIAMA PROJECT、会議ファシリテーション講座) 5回 114人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座等の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	6,004	令和2年度	4,183	令和3年度	7,421
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの場では、市民大学等の文化や教養講座のほか、地域住民がまちづくりや地域課題に関心を持ち、主体的に取り組む講座を企画し、実施してきた。 ・地域住民の交流の場としては、新立花南生涯学習プラザ(令和4年度供用開始)を生涯学習の拠点としていくために、「立花かいわい会」、「子育てカフェ」、「たちばなユーススペース」などの居場所づくりを地域住民やユース交流センター、北部地域保健課などと連携し、実施している。また、高校生や大学生が地域活動に関心を持ち、まちづくりに参加するきっかけとなるよう、関西学院大学と連携し、大学生と高校生によるワークショップを地域住民等の協力を得て実施した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動になじみの薄い世代や関わるきっかけがない方々が地域活動に関心を持つきっかけを作り、地域活動に関わる住民のすそ野を広げていく。 ・地域担当職員が様々な地域活動や団体、人を知る中で、地縁、志縁に関わらず、活動する方々の間を必要に応じてつなぎ、ゆるやかなネットワークを築いていく。 ・体験や学びが自己の成長や生きがい、まちの課題解決にもつながっていくといった「生涯、学習!」の基本理念の浸透を意識し、取組を進めていく。 ・地域コミュニティの仕組みづくりを推進する、より効果的な予算のあり方等について検討する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	1,100	1,136	1,315	1,892	
報償費	792	840	956	1,150	講師謝礼
需用費	293	242	336	484	各種事業消耗品等
役員費	4	2	7	83	Wi-fi使用料、レクリエーション保険
使用料及び賃借料	8	51	4	51	会場使用料等
その他	3	1	12	124	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	47,174	44,209	52,774	43,406	
職員人工数	5.93	5.53	6.50	5.35	
職員人件費	42,501	40,274	49,127	40,360	
嘱託等人件費	4,673	3,935	3,647	3,046	
合計 C(A+B)	48,274	45,345	54,089	45,298	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	559	322	343	120	市民福祉振興基金、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	47,715	45,023	53,746	45,178	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	武庫地区学びと活動推進事業費	1E2U
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	武庫地域課	所属長名	富田 聡一郎
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：ハートフルシネマ、パネル展など 13回 参加人数901人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：夏休みの子ども向け講座など 25講座実施 参加人数428人 ・生涯学習推進事業：市民大学、日本語読み書き学級 2講座46回実施 参加人数1,046人 ・地域力創生事業：小・中学校でのキャリア教育など 36講座実施 参加人数3,614人 ・市民参加・交流・連携推進事業：オトナのまなびバルなど 29講座実施 参加人数613人 ・清流にふれあう道づくり事業：拠点整備、イベント実施、武庫小学校との連携事業など 活動81回 参加人数634人 ・ウェルカムパーティー事業：子育て世帯向けイベントなど 実施5回 参加人数186人 ・地域予算事業：mukoキャンパスみんなのホームルームなど イベント実施32回 参加人数549人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	8,832	令和2年度	5,472	令和3年度	7,971
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清流にふれあう道づくり事業では、水路周辺の環境整備に加え、打ち水やお月見といった季節のイベントを実施することで、世代間交流や自然とのふれあいにつながり、地域への愛着が醸成できた。 ・ウェルカムパーティー事業では、子育て世帯へ向けた様々なイベントを実施し親子の交流の場となっている。 ・市民の相談、PRの場として「mukoキャンパスみんなのホームルーム」を月1回実施し、地域の交流の場となっている。 ・実施3年目の「オトナのまなびバル」では、4日間16講座延べ219人が参加し、幅広い世代の学びと交流の場となった。また、夏休み中の子ども向けに「むこっ子行きたくなる短期大学(MIT)」として12講座を実施し、231人の参加があった。 ・武庫東西生涯学習プラザの愛称お披露目イベントとして「アマガサキ春のmuko→プロまつり」を実施し、105名の参加があった。また、このイベントには東西プラザで活動するグループ11団体の参加があり、グループ同士の交流の場となった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の活動団体と職員が地域特性や課題に合わせた講座等を共に考え実施していく。 ・地域住民が講師となり講座を行うことで、講師、参加者双方に学びの機会が生まれた。今後も住民の学びの機会創出を目標にイベント等実施していく。 ・今後も地域住民やプラザグループが交流できるようなイベントを継続して実施し、生涯学習プラザの利用促進につなげていく。 ・地域コミュニティの仕組みづくりを推進する、より効果的な予算のあり方等について検討する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	1,970	1,686	1,244	2,577	
報償費	982	477	623	1,128	講師謝礼
需用費	185	149	160	492	消耗品
役務費	11	12	12	26	保険料
委託料	792	1,048	448	748	清流にふれあう道づくり事業等
その他			1	183	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	24,157	21,261	15,538	17,441	
職員人工数	2.45	2.47	1.95	1.91	
職員人件費	19,188	19,200	14,066	16,000	
嘱託等人件費	4,969	2,061	1,472	1,441	
合計 C(A+B)	26,127	22,947	16,782	20,018	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金		300			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他	609	308	186	120	市民福祉振興基金、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	25,518	22,339	16,596	19,898	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	園田地区学びと活動推進事業費	1E2V	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度		
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
局	総合政策局	課	園田地域課	所属長名	藤川 明美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：ハートフルシネマなど 5講座 5回 126人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：夏休みオープンスクールなど 6講座 15回 154人 ・生涯学習推進事業：市民大学など 4講座 16回 447人 ・地域力創生事業：キャリア教育支援事業など 4講座 15回 1,412人 ・市民参加・交流・連携推進事業：10講座 27回 518人 ・共催事業 14講座 222回 2,648人 ・自然と文化の森プラットフォーム事業：自然と文化の森協会の事業支援 31回 1,054人 ・ウェルカムパーティ事業：マタニティセミナー 1回 2人 ・地域予算事業：プラザ移転バス吊り広告、地域学校協働活動推進員活動紹介誌150部発行、プラザで菜園

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	9,090	令和2年度	3,178	令和3年度	6,361
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プラザで学びweek」では、親子対象の講座を増やした結果、例年と比べ若者の参加者が増加した。また、一部の講座では参加者同士のLINEオープンチャットが出来るなどのつながりが生まれた。 ・子育て事業についてプラザ利用者からの悩みをきっかけに講座を企画・実施することができた。親子で取り組む内容とすることで講師との交流もあった他、参加者同士で悩みを共有する場づくりにもつながった。 ・生涯学習推進事業について、市民の文化教養を図るため様々な分野の講座を実施し、多くの参加者があった。 ・地域予算を活用し、「プラザで学びweek」の講座を機に菜園を設置したところ来館者や講座参加者との交流が増えた。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てをテーマとした講演会を企画したりママカフェを再開するなど、参加者同士の交流が生まれることを狙いとし、交流を通じて新たな企画や地域活動へつなげる。 ・「プラザで学びweek」については、昨年度同様に、普段プラザを利用しない若者に足を運んでもらえるような構成で実施する。また座学のみでなくワークショップなどを交えることで、参加者同士のつながりが生まれるよう工夫する。 ・プラットフォームについて、自然と文化の森協会の基幹事業である「農業」をテーマに実施することで、自然と文化の森構想を広く市民に知ってもらうことを狙いとする。新たな参加者を獲得するため、併せて農業市の開催も目指す。 ・市民大学については、座学が中心であったものを受講者同士の交流ができる場にシフトし、同期生として共に学んでいく出会い・交流の場としての要素を盛り込んでいく。 ・地域コミュニティの仕組みづくりを推進する、より効果的な予算のあり方等について検討する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	1,112	1,017	765	1,984	
報償費	686	563	488	1,141	講師謝礼
需用費	420	446	219	620	消耗品等
役務費		8	2	29	レクリエーション保険
使用料及び賃借料				44	会場使用料
その他	6		56	150	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	39,525	35,360	20,351	21,727	
職員人工数	5.49	4.54	2.60	3.00	
職員人件費	35,851	33,310	17,493	19,450	
嘱託等人件費	3,674	2,050	2,858	2,277	
合計 C(A+B)	40,637	36,377	21,116	23,711	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	529	64	120	240	市民福祉振興基金、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	40,108	36,313	20,996	23,471	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	学社連携推進事業費	BZ25	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	社会教育法		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成27年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	05 社会教育総務費				
局	教育委員会事務局	課	社会教育課、学び支援課	所属長名	松田 陽子、大森 康充

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民の活動や学習を支援し、その取組を充実することで地域での人材育成や資源発掘を行い、その結果を地域社会に活かすことのできる人づくり、仕組みづくりを推進し、子どもたちや地域へ還元する機会の創出を図る。地域での人材育成や資源発掘により、地域ぐるみで子どもを育てるために効果的な学校支援を目指す。
事業概要	地域と学校の連携・協働活動事業、学校図書ボランティア育成事業、特別支援ボランティア養成事業、スクールサポーター人材バンク事業
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 地域と学校の連携・協働活動事業 地域の豊かな社会資源を活用して、より効果的な学校支援が行えるよう調整する地域学校協働活動推進員を小学校に配置し、地域学校協働本部を設置する。また、学校運営に地域の声を生かし、地域とともにある学校づくりを進めていくため、コミュニティ・スクールの導入を進める。 学校図書ボランティア育成事業 小学校の学校図書ボランティアの育成と資質の向上を図るとともに、新たな人材を発掘するため、講演会、研修会、活動発表交流会を実施する。 特別支援ボランティア養成事業 特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深めるため、その学びが活動につながるよう、支援を必要としている子ども達をサポートするボランティアを養成する講座を実施する。 スクールサポーター人材バンク事業 新たな人材を発掘して登録することにより、地域の教育力向上につなげる。

②事業成果の点検

目標指標	地域の小中学校で行事やボランティア等に参加したことがある人の割合							単位	%	
目標・実績	目標値	30.0	達成年度	令和9年度	令和元年度	25.5	令和2年度	20.4	令和3年度	24.7
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動を通じて、地域の方がやりがいを感じたり、コーディネーターや地域担当職員で情報共有が図られたほか、児童発意の地域のクリーン作戦を地域振興センター、コーディネーターがサポートして行うなどの事例があった。 ・コーディネーター同士が地域で情報交換を行う動きがあり、つながりが深まりつつある。 ・小学校においては、地域学校協働活動を浸透させるため、引き続き、活動について地域の方々へ周知を図るとともに、学校管理職のみならず教員に対し効果を周知する必要がある。 ・今後、中学校にも地域学校協働活動を導入していく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や教員等を講師とする学校管理職及び教員研修を実施するとともに、活動の参加者の幅を広げるため、継続して情報発信するほか、地域担当職員との連携をさらに進める。 ・中学校においては、小学校のノウハウを活かし、学校現場の意見を聴きながら、コーディネーターの選定等、令和5年度からの地域学校協働活動の実施に向けた取組を進める。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	5,068	5,004	5,036	7,290	
報償費	3,865	3,533	3,516	4,629	コーディネーター謝礼
需用費	1,012	937	536	672	地域学協働活動消耗品等
役務費	29	34	33	34	コーディネーター保険料
委託料	147	500	947	1,947	コミュニティ・スクールモデル事業委託料等
使用料及び賃借料	15		4	8	
人件費 B	12,708	10,823	15,454	13,390	
職員人工数	1.29	0.85	1.21	1.28	
職員人件費	10,103	6,607	11,274	9,422	
嘱託等人件費	2,605	4,216	4,180	3,968	
合計 C(A+B)	17,776	15,827	20,490	20,680	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	1,640	1,961	1,929	2,901	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(国 1/3)
市債					
その他					
一般財源	16,136	13,866	18,561	17,779	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	成人教育事業費	BZ41	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	ユネスコ活動に関する法律		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和20年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	05 社会教育総務費				
局	教育委員会事務局	課	社会教育課	所属長名	松田 陽子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	ユネスコ活動を振興するとともに、市民に平和都市宣言の趣旨を啓発するほか、社会教育施設などで実施される平和事業の情報を発信し、平和について考える機運を高める。
事業概要	ユネスコ活動を振興するとともに各教育施設等で実施される平和事業の情報を発信する。
実施内容	<p>1 ユネスコ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコセミナー(フォーラムの開催) 令和3年度参加者数 80名 平和事業(平和の鐘を鳴らそう) 7月17日役員のみで実施 10名 文化アカデミー(伝統文化を学ぶ) 参加者 31名 コーアクション事業(書き損じはがきキャンペーンの実施により、世界寺子屋運動を支援する) 尼崎市民、尼崎市市内小学校他協力者多数 (実績)日本ユネスコ協会に148,883円送金 人権学習 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <p>2 平和教育チラシの作成</p> <p>各施設で実施する平和事業の情報をチラシにまとめ、市のホームページ(ダイバーシティ推進課)に掲載した。</p>

②事業成果の点検

目標指標	ユネスコ活動事業の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	150	達成年度	毎年度	令和元年度	248	令和2年度	35	令和3年度	121
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> コーアクション事業では、書き損じはがき等による募金を実施し、世界寺子屋運動を通してアフガニスタンへ支援を行った。 ユネスコセミナーは、SDGsの取り組みについて学習する機会を企画・準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。 「ESD=つながる、気づく、考動する」をテーマに尼崎市立成良中学校と兵庫県立尼崎小田高等学校の教員・生徒による環境教育やSDGsの取り組みについての事例発表を行った。 ウクライナの平和を願い、役員で平和の鐘を鳴らした。(3月23日実施、10名参加) <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後もユネスコ活動の振興を図るとともに、平和の大切さを訴えるための様々な活動について、引き続き支援を行う。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	74	38	74	74	
委託料	74				ユネスコ活動事業委託金
負担金補助及び交付金		38	74	74	ユネスコ活動事業補助金 ※令和2年度から委託事業から補助事業に変更
人件費 B	3,603	2,075	2,828	1,702	
職員人工数	0.46	0.12	0.14	0.13	
職員人件費	3,603	933	1,081	607	
嘱託等人件費		1,142	1,747	1,095	
合計 C(A+B)	3,677	2,113	2,902	1,776	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,677	2,113	2,902	1,776	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	PTA連合会等補助金	BZ5K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			昭和33年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	05 社会教育総務費				

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	所属長名	松田 陽子
---	----------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市PTA連合会、尼崎市連合婦人会の活動を支援し、その団体の設立趣旨を実現するために地域に密着した活動を展開することで、活力ある地域コミュニティの醸成を図る。
事業概要	社会教育団体に対し、助成を行い、団体活動の運営支援を図る。
実施内容	<p>1 尼崎市PTA連合会補助金 156,000円 [補助金対象事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止の啓発事業 オレンジリボン運動のステッカーを作成し、各校園のPTA・育友会に配布 ・PTA広報誌の発行事業 各校園(幼稚園・小学校・中学校・高等学校)の「広報誌コンクール」を実施(35校園応募 9校が入賞) 広報紙「PTAあまがさき」第56号を発行(79校園他に計41,000部を配布) <p>2 尼崎市連合婦人会補助金 184,000円 [補助金対象事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく事業 地域社会の特性を生かし、連携・共催する活動や地域の人々の交流を図り、地域の活性化を図る目的として実施(参加人数 808名)

②事業成果の点検

目標指標	—(本事業は社会教育団体への活動補助として補助金を交付するものであり、適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)								単位	—	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市PTA連合会は、児童・生徒の健全な育成を図るための事業を行い、尼崎市連合婦人会は女性の地位向上と地域のコミュニティ作りのための地域活動を展開しており、事業経費の一部補助により団体の設立趣旨に基づいた活動が継続されていることから、補助の目的が達成されている。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市PTA連合会については、団体の意義の周知につながる活動や活性化につながる活動に対し、引き続き支援する。 ・尼崎市連合婦人会については、地域活動を通して、地域のサークル、自主活動グループや学校(尼崎市PTA連合会)等の地域団体との連携が図られる活動に対し、引き続き支援する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	340	340	340	340	
負担金補助及び交付金	340	340	340	340	尼崎市PTA連合会、尼崎市連合婦人会
人件費 B	3,054	1,982	3,279	1,335	
職員人工数	0.39	0.15	0.34	0.09	
職員人件費	3,054	1,166	2,625	690	
嘱託等人件費		816	654	645	
合計 C(A+B)	3,394	2,322	3,619	1,675	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,394	2,322	3,619	1,675	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	図書館行事事業費	C11A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成2年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	15 図書館費				
局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民の読書意欲を高めるために、各種図書館行事を実施する。特に子どもたちやその保護者などに対しては、読書習慣への動機付けを図るための事業をボランティアとの協働により実施する。
事業概要	市民の読書意欲の向上や子どもたちへの読書週間への動機付けを図るために、各種事業を実施する。
実施内容	親子を対象とした講座や児童対象の行事をボランティアと協働で行うほか、利用頻度が少ない成人層を対象とした講座等を実施し、利用促進及び読書推進を図る。 <令和3年度 主な実績> (講座) ・市内幼稚園への出張講座 10回開催 612人参加 (行事) ・おはなし会(中央 37回開催 462人参加、北 30回開催 507人参加) ・乳幼児と保護者向けの読み聞かせ(中央 16回開催 217人参加、北 17回開催 290人参加) ・リサイクルブックフェア(中央及び北図書館にて各1回開催 中央 95人参加、北 77人参加) ・ビブリオバトル尼崎(4回開催 85人参加)

②事業成果の点検

目標指標	図書館行事参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	12,000	達成年度	毎年度	令和元年度	12,797	令和2年度	5,172	令和3年度	5,345
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の読書意欲の向上や子どもたちの読書習慣への動機付けを図るために実施している行事の多くを、新型コロナウイルス感染症対策のため中止あるいは規模を縮小せざるを得ず、行事参加者数は前年度より増加したものの、コロナ禍前の数値からは引き続き大幅な減少となった。 ・尼崎城址公園でのビブリオバトル開催や、芝生広場での読書を推進するブックピクニック事業等、感染拡大防止対策に工夫した屋外事業を新たに実施し、好評を得た。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市立図書館基本的運営方針に掲げる目標達成に向けて、親子で楽しめる事業や青少年との協働による事業、城内地区での連携事業を実施し、子ども・若者に読書に親しんでもらうとともに、まちの魅力の発信に取り組む。 ・関係団体と連携し、図書館内だけでなく館外での行事実施にも取り組み、市民の読書意欲向上と来館促進を図る。 ・行事実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じる。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	645	182	309	404	
報償費	100	47	39	134	講師謝礼
需用費	545	135	270	270	行事用消耗品
人件費 B	29,226	22,785	15,572	16,269	
職員人工数	3.15	2.30	1.48	1.46	
職員人件費	23,698	17,200	11,429	11,191	
嘱託等人件費	5,528	5,585	4,143	5,078	
合計 C(A+B)	29,871	22,967	15,881	16,673	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	29,871	22,967	15,881	16,673	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	障がい者等サービス事業費	C11K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	-		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和29年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	15 図書館費				
局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	視覚障がいを持つ市民等が本に親しみを持ち、読書活動を行える環境を整備し、生涯学習の一助となるための事業を実施する。
事業概要	視覚障がい者等に対して、対面朗読の実施や点字図書及び録音図書の郵送貸出を行う。また、視覚障がい者の読書活動をサポートする様々な機器の紹介や、点字作業の実演などの事業を実施し、図書館における障がい者サービスの重要性を市民に啓発する。
実施内容	対面朗読の実施や点字図書・録音図書の郵送による貸出を行った。また、障がい者等を対象とした行事を実施し、公共図書館としてのサービス向上に努めた。 <令和3年度 主な実績> (貸出) ・点字図書(利用者数 458人 貸出点数 669点) ・録音図書(利用者数 3,032人 貸出点数 4,087点) (事業) ・対面朗読(延べ46人参加) ・バリアフリー読書展(36人参加) ・人にやさしい読み書き機器展(34人参加)

②事業成果の点検

目標指標	点字図書及び録音図書の利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	4,500	達成年度	毎年度	令和元年度	4,476	令和2年度	3,975	令和3年度	3,490
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】 (目標に対する達成状況: やや達成できず) ・視覚障がい者に点字図書や録音図書を提供し、一般図書が利用困難な市民に対しても読書活動が行える環境を整備した。 ・利用者の高齢化やインターネットによる録音図書の普及により、利用者が減少している。 【今後の取組方針】 (事業の方向性: 維持) ・インターネットによる録音図書データのダウンロード利用が普及し、利用者は年々減少しているところではあるが、録音図書郵送貸出サービスの需要は一定数あるため、引き続き実施していく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	151	131	164	165	
需用費	151	131	164	165	点字雑誌等
役務費					
委託料					
使用料及び賃借料					
その他					
人件費 B	8,994	9,573	8,628	8,857	
職員人工数	1.00	1.08	1.01	1.07	
職員人件費	7,693	8,259	7,799	8,202	
嘱託等人件費	1,301	1,314	829	655	
合計 C(A+B)	9,145	9,704	8,792	9,022	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	9,145	9,704	8,792	9,022	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	図書等購入事業費	C121
根拠法令	図書館法等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和25年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	35 社会教育費	
目	15 図書館費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子
---	----------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	貸出や閲覧に供するための図書等を購入し、適正な図書館の運営を図る。
事業概要	図書等を選書して購入し、図書館等に配架して利用者に供する。
実施内容	<p>図書館運営のために必要な図書及びAV資料並びに逐次刊行物を購入する。</p> <p><令和3年度実績> (図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般図書(8,117冊 13,551千円) ・児童図書(6,525冊 11,351千円) ・参考図書(846冊 6,032千円) ・AV資料(21本 326千円) <p>(逐次刊行物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌(2,283冊 18,244千円) ・新聞(962千円) ・加除式刊行物(363千円) <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書(830タイトル 2,588千円)

②事業成果の点検

目標指標	図書の品揃えに対する満足度	単位	%						
目標・実績	目標値 56.7	達成年度	令和9年度	令和元年度	48.5	令和2年度	46.3	令和3年度	48.7
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるよう選書を行い、図書等の購入を行った。 ・「あまがさき電子図書館」を開始し、電子書籍の貸出を行うことで、非来館型サービスを提供した。 ・緊急事態宣言発出中の開館時間短縮はあったものの、前年度に比較して貸出冊数は増加し、コロナ禍前に近い数値まで回復した。(令和3年度 1,434,288冊、令和2年度 1,274,638冊、令和元年度 1,457,861冊) ・市民1人当たりの蔵書冊数、貸出冊数及び図書購入費は、阪神間各市並びに中核市と比較して依然として低水準にある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進に繋がる事業を、関係団体とも連携を図りながら図書館内外で行い、図書の貸出を促進する。 ・市内の学校園等との連携を推進し、児童生徒が図書に親しむ機会の創出を図る。 ・自習スペースのみの利用に留まっている若年層に対して、新着本や司書によるおすすめ本を掲示することで、貸出利用に繋げる仕組みの構築を図る。 ・市内企業からの寄附を有効活用し、児童書を中心に蔵書の充実を図る。 								

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	32,981	32,700	36,998	37,033	
需用費	3,138	3,075	5,737	5,746	雑誌、新聞、電子書籍等
備品購入費	29,843	29,625	31,261	31,287	図書購入費
人件費 B	25,132	26,265	32,587	29,349	
職員人工数	1.10	1.23	1.86	1.52	
職員人件費	8,059	9,019	13,697	11,003	
嘱託等人件費	17,073	17,246	18,890	18,346	
合計 C(A+B)	58,113	58,965	69,585	66,382	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	16,731	22,315	31,260	37,033	市町村振興協会市町交付金
一般財源	41,382	36,650	38,325	29,349	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	図書館サービス網関係事業費	C12A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成2年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	15 図書館費				
局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民が誰でも、どこでも、どのような資料でも利用できる環境を整備する。
事業概要	市民の学習活動を支援するため、中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室の計10施設を結ぶ図書館情報オンラインシステムにより、市内での自由な図書の貸出・返却及びインターネットを利用した蔵書検索等を可能にする。
実施内容	1 図書館サービス網関係事業費(システム) 中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室をネットワーク化し、市民が図書館(図書室)を利用しやすい環境を整備している。 (実績)システム経費 19,395千円(令和3年度)

②事業成果の点検

目標指標	図書館システムを利用した予約件数の割合(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)							単位	%	
目標・実績	目標値	90.0	達成年度	毎年度	令和元年度	87.6	令和2年度	89.0	令和3年度	89.9
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムを導入し、中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室をネットワーク化することで、インターネット上での蔵書検索や予約等が可能になり、利便性が向上している。 ・インターネットを利用した図書館サービスを広く周知するなど、利用率を向上させる取組を講じ、図書館(図書室)の利用促進につなげる必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムは、阪神間各市だけでなく、大多数の自治体が導入しているため、継続して導入する必要がある。 ・令和4年12月で現システムの契約期間が終了するため、次期図書館システムの導入に向けた検討を行い、市民の利便性向上を図る。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	34,000	21,643	23,399	29,618	
需用費	183	574	634	656	図書貸出券作成等
役務費	386	13	10	14	ボランティア保険料
委託料	2,582	1,098	3,360	8,261	書誌情報作成委託料、機器移設
使用料及び賃借料	19,877	19,958	19,395	20,687	コンピューター借上料
備品購入費	10,972				
人件費 B	6,342	22,027	5,704	6,042	
職員人工数	0.70	0.65	0.61	0.66	
職員人件費	5,204	4,781	4,710	5,059	
嘱託等人件費	1,138	17,246	994	983	
合計 C(A+B)	40,342	43,670	29,103	35,660	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	30,850	19,956	8,978	303	市町村振興協会市町交付金、北図書館指定管理者業務負担収入
一般財源	9,492	23,714	20,125	35,357	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	資料整理事業費	C12K
根拠法令	図書館法等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成2年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	35 社会教育費	
目	15 図書館費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子
---	----------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	図書を初めとする行政資料、記録その他新聞等の公共性の高い資料を整理・保存し、利用者の調査研究に寄与する。
事業概要	資料保存のため、市報・新聞の阪神版等の製本及び図書館資料の補修・補強などを行う。
実施内容	<p>資料を良好な状態で利用者に提供するために、経年劣化等により破損・損傷した資料を補修・補強を適宜行う。また、市報あまがさき及び新聞については、製本を行い長期間保存できるように努める。さらに、新聞記事データベース(ヨミダス歴史観)及び国立国会図書館デジタルコレクションなどの、オンラインサービスを活用することで、長期保存、また記事検索が容易になり、市民サービスの向上に寄与している。</p> <p>(実績)</p> <p>市報あまがさき及び新聞(阪神版)の製本 80千円 バーコード作成費用 35千円 資料整理及び補修用消耗品 236千円 郷土資料(住宅地図等)修繕 77千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	—(資料の保存を目的とする事業であるため、適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を提供していく中で、経年劣化等による資料の破損・損傷が生じるため、適宜補強・補修を行った。 市報あまがさきや、保存年限を経過した新聞に掲載されている阪神間に係る記事のみを抜粋した、阪神版の新聞の製本を行い、図書館利用者に提供した。 経年劣化していく資料の増加が想定されるので、必要に応じ新規購入や補修等を行っていく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、資料の保存・整理を適切に行い、市民の生涯学習につなげていけるよう努める。 破損・損傷した資料をいち早く利用者に供することが出来るよう、速やかに補修・補強を行っていく。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	372	312	428	465	
需用費	372	312	428	465	新聞、市報製本、バーコード作成等
役務費					
委託料					
使用料及び賃借料					
その他					
人件費 B	976	1,141	2,197	2,177	
職員人工数		0.02	0.13	0.13	
職員人件費		155	871	867	
嘱託等人件費	976	986	1,326	1,310	
合計 C(A+B)	1,348	1,453	2,625	2,642	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	1,348	1,453	2,625	2,642	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	姉妹・友好都市交流関係事業費	102F	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和34年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	05 一般管理費				

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	姉妹・友好都市から訪問団の受け入れと本市からの訪問団の派遣を通じ、提携趣旨である文化・産業等の交流を図ることで、姉妹・友好都市の市民間の相互理解と親善を深め友好を促進する。
事業概要	アウクスブルク市及び鞍山市との訪問団の相互派遣及び各種交流事業を実施する。
実施内容	<p>【アウクスブルク市】</p> <ul style="list-style-type: none"> アウクスブルク経済気候協定の締結イベントへ尼崎市長のメッセージ動画を送付した(3月24日) ※青年使節団派遣(9月予定)を中止 <p>【鞍山市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生オンライン交流 武庫南小学校(11月25日) 尼崎市・鞍山市芸術交流展を実施した。本市と鞍山市で75点ずつ作品の交換を行った。 1回目: 尼崎観光案内所 3月2日～3月14日 (作品展示数37点) 2回目: 本庁舎南館2階秘書課前 前期 3月16日～3月23日 (作品展示数34点) 後期 3月24日～3月31日 (作品展示数41点) ※青少年使節団受入(9月予定)を中止

②事業成果の点検

目標指標	両市の派遣・受入に関わる人数や書画交流など事業に関わった人数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	1,600	達成年度	毎年度	令和元年度	2,178	令和2年度	151	令和3年度	335
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大のため、尼崎市青年使節団のアウクスブルク市への派遣及び鞍山市青少年使節団の本市での受け入れを延期した。 鞍山市との芸術交流展は、本市では例年通り実施できたものの、鞍山市ではコロナ禍の影響で開催ができなかった。芸術分野での交流は直接交流以外の事業として有用であるため、継続開催に向けて調整を進める。 小学校への姉妹・友好都市紹介講座の一環で、鞍山市と本市の小学生によるオンライン交流(英語を使用)を実施した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き姉妹・友好都市との交流を展開する。 新型コロナウイルス感染拡大のため渡航が難しい状況を踏まえて、インターネットや動画等を使った新たな交流方法について検討する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	5,549	34	25	4,198	
報償費	1,378	19	14	259	青少年芸術交流記念品購入費
旅費	2,070			578	
需用費	663	15	11	979	ポスター作成費
負担金補助及び交付金	1,200			800	
その他	238			1,582	
人件費 B	3,754	3,135	1,671	2,561	
職員人工数	0.24	0.14	0.06	0.16	
職員人件費	1,880	1,088	463	1,226	
嘱託等人件費	1,874	2,047	1,208	1,335	
合計 C(A+B)	9,303	3,169	1,696	6,759	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	9,303	3,169	1,696	6,759	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	国際交流事業補助金	102J	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市国際交流事業補助金交付要綱			展開方向
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	昭和56年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	05 一般管理費			

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的として、市民の国際交流を促進する事業や、姉妹都市・友好都市との交流を促進する事業、日本語講座などに対して補助金を交付し、市民主体の国際交流を促す。
事業概要	市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的とした国際交流事業に対し、補助を行う。
実施内容	<p>姉妹都市・友好都市その他諸外国の市民や団体及び市内在住外国人との交流を行っている尼崎市国際交流協会に対して、事業補助を行った。</p> <p>1 国際交流促進事業</p> <p>(1) 日本語講座(市内施設3か所、受講生192人)</p> <p>(2) 日本語学習支援ボランティア養成講座(2回実施 受講生17人)</p> <p>(3) 子ども向け日本語教え方セミナー(受講生30人)</p> <p>(4) 市内在住外国人との交流事業(①フットサル参加者27人、②着物なりたちツアー(次年度へ繰越のため準備のみ))</p> <p>(5) 日本語スピーチコンテストは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>2 情報発信事業</p> <p>(1) ホームページの運営(概ね3週間毎に更新、ホームページ閲覧数平均9人/日、閲覧ページ数平均41/日、メルマガ配信登録件数:270件)</p> <p>(2) 情報誌作成(年4回各500部発行、会員及び公的施設に配布)</p>

②事業成果の点検

目標指標	国際交流協会主催の交流イベントや諸外国との交流等のうち、補助対象事業に係る参加人数の合計(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	400	達成年度	毎年度	令和元年度	251	令和2年度	66	令和3年度	266
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <p>・令和3年度より、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、少しずつ対面での事業やイベントが実施されるようになってきている。しかし、日本語スピーチコンテストなど大人数が集まり、声を出すものは実施が見送られることがあり、参加者全体の人数が大幅には増えていない。感染症対策を実施しながら参加者を集めるのは難しい一面もあるが、オンラインでの活動、また新しい事業の展開などにより参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・ポストコロナも見据えた尼崎市国際交流協会の活動等に対する支援の在り方について検討していく。</p> <p>・近年の補助事業においては在留外国人を対象とする日本語講座など多文化共生に関連するものが多数を占めていることから、補助の目的そのものや対象事業についても見直しを検討していく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	567	445	430	591	
負担金補助及び交付金	567	445	430	591	
人件費 B	151	228	263	246	
職員人工数	0.01	0.02	0.02	0.01	
職員人件費	78	155	154	77	
嘱託等人件費	73	73	109	169	
合計 C(A+B)	718	673	693	837	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	718	673	693	837	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	尼崎市文化振興財団補助金等	1F1A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			昭和49年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	63 文化振興費				

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、市民文化活動の拠点施設である尼崎市総合文化センターを運営する尼崎市文化振興財団に対し、ホール管理費・文化事業費等の補助金を交付することで、良質な文化芸術に触れる機会を提供し、市民が文化芸術に親しんでいる状態を目指す。
事業概要	本市文化振興の中核を担う尼崎市文化振興財団に補助金を交付し、文化の向上発展を図る。
実施内容	<p>優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、以下の事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運営事業費補助(財団職員人件費・ホール管理費・文化事業費(美術展・団体育成)) 財団の管理運営にかかる経費の一部を補助することにより、継続的・安定的な経営を図る。 2 文化振興事業費補助(市展・ふれあいギャラリー・文芸祭・演劇祭・新人お笑い大賞、文楽公演) (※富松薪能、尼崎薪能は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) 3 郷土画家「白髪一雄」作品発信事業費補助 白髪一雄記念室において作品を広く公開するとともに、市内の小中学校等を対象にアウトリーチ事業を実施した。 4 ちかまつ等関係事業費補助(近松ナウ・近松祭・近松賞) 近松ナウ、近松祭の実施を支援し、「近松のまち・あまがさき」をPRするとともに、近松賞は第8回の公募に向けPRを行った。 5 施設整備費補助 利用者等の安全を確保するとともに、事故の未然防止、事業の円滑な実施のための施設・設備更新工事等を行った。(中ホール外壁打診検査業務、中ホールワイヤレスマイクシステム工事、中ホールトイレ感染症対策工事) 6 市民芸術賞・文化功労賞の表彰事業(委託) 市の芸術文化の振興に貢献した人及び市民文化の向上に貢献した人を顕彰した。(R3市民芸術賞 和田桐山(正明)氏(陶芸)・R3文化功労賞 鷹取雅泉氏(書道)、前田野生子氏(俳句)、吉野誠山氏(吟詠))

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市総合文化センター稼働率(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	%	
目標・実績	目標値	—	達成年度	令和9年度	令和元年度	38.4	令和2年度	24.0	令和3年度	44.9
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>・総合文化センターにおいて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、音楽・バレエ・演劇・古典芸能などのホール事業、白髪一雄記念室をはじめとする美術展事業、市展や文芸祭等の文化振興事業などを実施し、市民の文化芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>・本市の文化振興を推進していくため、尼崎市文化振興財団の機能強化、文化事業の今後の展開や総合文化センターのあり方について整理を進めるとともに、施設の耐震化等を進めていくために施設の整備内容等について引き続き市と財団とで連携し、協議・検討を行う必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <p>・文化振興の推進について、尼崎市文化ビジョンに基づく文化事業の今後の展開や、市と尼崎市文化振興財団の役割、同財団の効果的・効率的な運営について整理・検討を進め、総合文化センターの入場者数の増加へ繋げる。</p> <p>・総合文化センターの耐震化等の着手に向けた手続きを進め、指定管理者制度導入について検討・調整を行う。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	294,891	287,896	261,919	265,961	
委託料	469	1,415	469	469	市民芸術賞・文化功労賞委託費
負担金補助及び交付金	294,422	286,481	261,450	265,492	
人件費 B	5,874	6,452	3,012	4,369	
職員人工数	0.75	0.83	0.39	0.57	
職員人件費	5,874	6,452	3,012	4,369	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	300,765	294,348	264,931	270,330	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	5,326	2,568	6,722		R2・3新型コロナウイルス感染症対応
市債					地方創生臨時交付金(国10/10)
その他	1,947		13,423	12,623	市町村振興協会市町交付金
一般財源	293,492	291,780	244,786	257,707	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト事業費	1F1C
根拠法令	—	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和元年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	63 文化振興費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	海外でも評価の高い白髪氏の作品や、本市に所縁の深い人物として白髪氏の人物像を継続して全国にプロモーションしていき、広く周知に取り組む。
事業概要	全国の美術館で本市とゆかりの深い白髪氏の作品の展覧会を行うことにより、本市の魅力をプロモーションする。
実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各地の美術館が運営に苦慮する中、令和3年度の開催には至らなかった。次年度に向けた調整の結果、令和4年5月28日から宮崎県立美術館での開催が決まり、先方との連絡調整や大型作品輸送のための梱包資材の制作などを行った。宮崎県立美術館では、地元作家と白髪氏との交流にも着目しており、白髪氏が宮崎県を訪れ制作した作品や当時の資料も合わせて展示の準備を行った。

②事業成果の点検

目標指標	展覧会の入館者数(累計)(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	18,000	達成年度	令和3年度	令和元年度	31,142	令和2年度	33,928	令和3年度	33,928
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) 令和4年度の開催に向けて準備を行うことができたが、令和5年度以降の開催に向けて、他の美術館とより積極的に交渉を進めていく必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 当プロジェクトは白髪一雄生誕100年となる令和6年度を見据え、全国に白髪一雄氏の作品や人物像を発信し、機運を高めるために実施してきた。令和6年度の企画準備とともに、令和5年度以降に展覧会の開催意向のある美術館を決めていけるよう、取組を進めていく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	2,996	1,415	154	3,000	
旅費	196	137		200	開催地への出張旅費
委託料	2,800	1,278	154	2,800	業務委託(梱包資材制作)
人件費 B	1,925	1,788	1,776	2,606	
職員人工数	0.23	0.23	0.23	0.34	
職員人件費	1,801	1,788	1,776	2,606	
嘱託等人件費	124				
合計 C(A+B)	4,921	3,203	1,930	5,606	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	2,996	1,415	154	2,800	文化振興基金繰入金
一般財源	1,925	1,788	1,776	2,806	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	文化団体育成補助金	1F1D	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市文化団体協議会補助金交付要綱			展開方向
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	昭和40年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付し、多彩で創造的な文化活動の促進を図る。
事業概要	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。
実施内容	<p>市内で活動している文化団体17団体間の連携と協調を図るとともに、地域文化の向上を図るため、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。(4団体については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に事業を実施しなかったため、一部返金対応となった。)</p> <p>【構成団体】(17団体 順不同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎ピアノ音楽協会 ・尼崎市囲碁協会 ・尼崎市合唱連盟(返金) ・尼崎邦舞協会 ・尼崎川柳協会(返金) ・尼崎吟詠協会 ・尼崎阜月協会 ・尼崎市合奏連盟(返金) ・尼崎マンドリン・ギター協会 ・尼崎能楽会 ・尼崎市オーケストラ協会 ・尼崎市吹奏楽連盟 ・尼崎民謡民舞連合協会(返金) ・尼崎邦楽文化協会 ・尼崎市菊花協会 ・尼崎俳句協会 ・尼崎洋舞家協会

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市文化団体協議会の加盟団体による実施事業数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	事業	
目標・実績	目標値	25	達成年度	毎年度	令和元年度	21	令和2年度	13	令和3年度	15
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった事業が多数あり、目標は達成できていないが、文化活動を行っているそれぞれの組織が、文化団体協議会への加盟を通じて連携や協調を図り、感染防止対策を行いながら多種多様な文化事業を行った。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 各文化団体が単に組織内での活動を行うだけでなく、他団体との連携や協調を図りながら活動することで、市民が文化、芸術に触れる機会の創出に寄与していく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	67	60	56	67	
負担金補助及び交付金	67	60	56	67	
人件費 B	255	265	247	1,003	
職員人工数	0.01	0.02	0.02	0.03	
職員人件費	78	155	154	230	
嘱託等人件費	177	110	93	773	
合計 C(A+B)	322	325	303	1,070	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	322	325	303	1,070	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	若者の夢創造・発信事業費	1F1E	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市文化ビジョン			
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成25年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進			

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	「尼崎市文化ビジョン」に基づき、若者の夢とチャレンジを応援する事業を実施することで、地域文化を創造する次代の担い手を育成するとともに、まちの魅力を増進する。
事業概要	本市の魅力や地域資源を活用しながら、若い人の夢やチャレンジを応援することを目的とした事業を行う。
実施内容	<p>1 ティーンズサポート事業 若者に本物の音楽や舞台などの芸術にふれる機会を提供するため、尼崎市文化振興財団等が実施する公演等を若年層が500円で鑑賞できる「ティーンズサポートチケット」のPRを行った。(応募者数71人)</p> <p>2 尼崎落研選手権 本市には多くのお笑いタレント・落語家が在住し、地域寄席が市内各地で開催されていることから、「お笑い」「落語」も地域資源の一つであると捉え、「尼崎落研選手権」を開催した。(参加大学12大学、来場者78人)</p> <p>3 あまらぶアートラボ(A-LAB)運営事業 若手アーティストの発表・創作の場として若い人の夢やチャレンジを応援するという取組で、展覧会などを開催した。展覧会5回(参加者数4,163人)、トークイベント3回(動画配信3回550再生、うち有観客2回25人)、音楽イベント1回(参加者11人)。</p> <p>4 尼崎市文化未来奨励賞 芸術性の高い優秀な作品などを創作し、全国規模の活動を展開している本市ゆかりの若手芸術家を顕彰した。令和3年度は自薦・他薦合わせ9名の応募があり、落語家の露の団姫氏を第4回の受賞者として決定した。また第3回受賞者である作曲家の高木日向子氏によるワークショップ、コンサートを開催した。(参加者151人)</p> <p>5 公開レッスン・コンサート事業 世界的指揮者大植英次氏が市内中学・高校の吹奏楽部を対象に、公開レッスンコンサートを開催した。(来場者475人)</p> <p>6 白髪一雄現代美術賞 世界的に評価された本市ゆかりの画家・白髪一雄氏にちなみ、若手アーティストによる先駆的で魅力のある現代美術作品を募集し、47名中の応募の中から第1回の受賞者として林葵衣氏を選出した。</p>

②事業成果の点検

目標指標	若者支援を対象にした文化芸術事業への参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>5,250</td> <th>達成年度</th> <td>令和9年度</td> <th>令和元年度</th> <td>4,763</td> <th>令和2年度</th> <td>4,843</td> <th>令和3年度</th> <td>4,974</td> </tr> </table>	目標値	5,250	達成年度	令和9年度	令和元年度	4,763	令和2年度	4,843	令和3年度	4,974		
目標値	5,250	達成年度	令和9年度	令和元年度	4,763	令和2年度	4,843	令和3年度	4,974				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>2 尼崎落研選手権は、12校が参加し、8校が東北、関東、九州等からの参加で、全国的に知名度が上がってきた。</p> <p>3 A-LABは、尼子騷兵衛展及びあまがさきアートストロールと関連する展覧会を開催したことで参加者数が増加した。</p> <p>4・6 白髪一雄現代美術賞・文化未来奨励賞により、若手アーティストの活躍に向けた支援ができた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>文化未来奨励賞、白髪一雄現代美術賞について、多くの応募があるよう広く周知する。今後も継続して、本市の魅力や地域資源を活用しながら、若者の夢やチャレンジを応援する事業を行う。また、市民がより広く文化事業を体験できるように、各生涯学習プラザでワークショップを行うなど、地域に展開していく。</p>												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	22,103	23,560	23,132	26,561	
報償費	5,930	5,352	5,551	6,181	展示会開催、審査員等謝礼
需用費	2,000	1,472	1,612	2,700	A-LAB施設維持管理経費等
委託料	12,963	15,502	14,779	15,437	A-LAB運営委託費等
使用料及び賃借料	1,118	1,134	1,118	1,124	レッスンコンサート会場使用料等
その他	92	100	72	1,119	役員費、旅費等
人件費 B	13,791	13,133	15,577	19,226	
職員人工数	1.46	1.65	1.80	2.34	
職員人件費	11,435	12,825	13,900	17,936	
嘱託等人件費	2,356	308	1,677	1,290	
合計 C(A+B)	35,894	36,693	38,709	45,787	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債				700	文化施設整備事業債
その他	1,035	1,049	1,038	1,036	文化振興基金繰入金、庁舎電話料等実費弁償金
一般財源	34,859	35,644	37,671	44,051	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	まちの魅力発信事業費	1F1F	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成21年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	63 文化振興費				
局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	本市が持つ歴史や伝統、文化や産業などのまちの魅力を増進し、市民や来訪者に対しホスピタリティを持って戦略的・効果的に発信する。市民がわがまちに対して愛着と誇りを持ち、事業者や各種団体が、自主的に観光振興や交流人口拡大に向けた取組を行い、ホスピタリティあふれるまちとなるとともに、交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口(定住人口)が増加している状態を目指す。
事業概要	観光・集客事業により魅力を増進し、ホームページやSNSにより魅力を戦略的・効果的に発信する。
実施内容	<p>1 Webコンテンツ、パンフレットラックの運営 Twitterやfacebook等による情報発信、市内に設置したパンフレットラックの管理を行った。</p> <p>2 観光・集客事業 あまがさき観光案内所にて尼子騒兵衛氏の常設展示を行う「尼子騒兵衛オリジナルピクチャーコレクション」において、月1回、テーマを決めて原画を入れ替えながら展示を行った。(令和3年度観光案内所利用客数 28,267人)</p> <p>3 アート@シビック・ロビー事業 市役所本庁舎や生涯学習プラザのロビー等で本市が収集しているアート作品を活用したミニ展覧会を開催した。全4期・各期4テーマの展示を本庁舎と生涯学習プラザ等で巡回した。(計16回)</p>

②事業成果の点検

目標指標	Twitterのフォロワー数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	9,500	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	9,370
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> TwitterをはじめとするSNSによる情報発信について、事業のPRやイベントの告知等を積極的に行った。特に令和3年度は、尼子騒兵衛展の情報を随時更新するなど、市内外からの来場を促すような情報発信ができた。 アート@シビック・ロビー事業では、生涯学習プラザのロビー等で展示を行い、市民等が身近にアート作品に触れられる機会を提供できた。(令和3年度テーマ:「あまがさきの街なみ」「尼崎ゆかりの画家 中村茂雄」「彩りの花」「あまがさきの風景」) <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSの活用について、Twitterのフォロワーが興味を持てるよう工夫しながら、市内の文化事業を広く発信できるよう努める。 様々な公共施設や他事業とのコラボレーションや、地域資源を生かした事業を実施する等、今後も工夫して本市の魅力を発信していく。(令和3年度から工場夜景と阪神電車車両基地見学会は、観光振興課へ事務移管している。) 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	3,353	2,009	1,640	2,668	
報償費	900	500	700	850	資料等撮影費
需用費	2,090	1,290	527	1,099	消耗品費、印刷費
委託料			200	200	アート@シビック・ロビー委託料
使用料及び賃借料	210	216	210	236	イラスト使用料等
その他	153	3	3	283	電波利用料
人件費 B	3,377	4,355	5,909	6,278	
職員人工数	0.41	0.53	0.58	0.29	
職員人件費	3,211	4,120	4,479	2,223	
嘱託等人件費	166	235	1,430	4,055	
合計 C(A+B)	6,730	6,364	7,549	8,946	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	6,730	6,364	7,549	8,946	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	尼子騷兵衛作品等資料収集・調査・活用 事業費	1F1G
根拠法令	—	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和2年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	63 文化振興費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	曾田 研之介
---	-------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	全国へ尼崎の魅力・地域資源を発信し、市民にまちの魅力として誇りに感じてもらうシビックプライドの醸成を目的とする。
事業概要	尼崎市出身・在住で、人気アニメ「忍たま乱太郎」の原作者である尼子騷兵衛氏の事務所から寄贈・寄託を受ける作品・資料を保存・整理・活用する。
実施内容	<p>尼子騷兵衛氏がこれまでに制作した原画や、アニメ「忍たま乱太郎」のセル画・台本、忍者道具コレクションなど、尼子事務所が所蔵している作品や資料を一括して寄贈・寄託を受けるため、それらのリストを作成し整理してきた。(令和2年度に寄贈・寄託を受ける予定だったが、資料の数が膨大になり、令和3年度も引き続き作品や資料のリストを作成し整理を行った。)</p> <p>またそれらの資料を活用し、令和3年7月17日～9月26日において、尼子騷兵衛氏のこれまでの画業を総合的に紹介する全国で初めての「尼子騷兵衛展」を開催し、5,854人が来場した。(文化振興担当が事務局となり、尼子騷兵衛展実行委員会が主催。)本市は、負担金6,056,000円を支出した。</p> <p>(参考) あまがさき観光案内所において常設展「尼子騷兵衛オリジナルピクチャーコレクション」を開催した。 (令和3年4月1日～令和4年3月31日、まちの魅力発信事業として実施、期間内観光案内所利用客数 28,267人)</p>

②事業成果の点検

目標指標	展覧会の入館者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	8,000	達成年度	令和3年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	5,854
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) 尼子騷兵衛展の開催期間において、新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令されていたため、当初見込んでいたよりも遠方からの来場が少なくなり目標人数は達成することができなかった。しかし、グッズの売上が伸び、事業収入が増加し収益をあげることができた(実行委員会の残余財産として、文化振興基金に寄付)。また、同時期に尼崎城や歴史博物館、A-LAB、尼信会館等でも乱太郎コンテンツを展開し、尼崎南部のエリアを中心に周遊いただくことで、尼崎の魅力発信に繋げることができた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: —) 尼子騷兵衛展は単年度事業であるため、当事業は令和3年度をもって終了となるが、本市のさまざまな文化や地域資源に触れていただく機会を創出できるよう取り組んでいく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	524	6,267	0	
旅費		204	1		作品借用等に係る旅費
需用費			5		作品借用にかかるガソリン代
委託料			174		資料の保管場所移転にかかる委託料
使用料及び賃借料			31		作品借用にかかる高速料金
負担金補助及び交付金		320	6,056		尼子騷兵衛展実行委員会負担金
人件費 B	0	6,678	11,227	0	
職員人工数		0.39	1.06		
職員人件費		3,031	8,185		
嘱託等人件費		3,647	3,042		
合計 C(A+B)	0	7,202	17,494	0	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			6,056		文化芸術振興費補助金(国1/2)
市債					
その他					
一般財源	0	7,202	11,438	0	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	文化財保護啓発事業費	C51A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	文化財保護法、尼崎市文化財保護条例		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度			昭和39年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	長い歴史を有する本市に多数現存している史跡・文化財を市民共有の財産として保護・活用していく。埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業に際し、事業者や庁内関係課との連絡・調整を密にして、保護・活用を図る。
事業概要	遺跡の発掘調査を実施するとともに、文化財の保護・啓発に努める。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会 出土遺物保存処理事業 市内遺跡発掘調査事業 遺跡調査システム導入事業 国指定文化財管理事業 全国史跡整備市町村協議会等負担金 文化財の啓発 <ul style="list-style-type: none"> 歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業

②事業成果の点検

目標指標	指定文化財の毀損・滅失・解除数(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)	単位	件										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>0</td> <th>達成年度</th> <td>毎年度</td> <th>令和元年度</th> <td>0</td> <th>令和2年度</th> <td>0</td> <th>令和3年度</th> <td>0</td> </tr> </table>	目標値	0	達成年度	毎年度	令和元年度	0	令和2年度	0	令和3年度	0		
目標値	0	達成年度	毎年度	令和元年度	0	令和2年度	0	令和3年度	0				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度において国・県・市指定文化財とも毀損・滅失・解除はなかった。 新たに市指定文化財を2件指定した。 埋蔵文化財については、法令に基づき適切に対応した。 歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業については、コロナ禍のため、市民向け事業は中止し、富松城跡を活かすまちづくり委員会の会員対象の研修会のみ実施した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財や歴史資料等の収集・調査・整理を進め、地域資産として有効活用できるように保存・公開することにより、地域の歴史を学ぶ環境づくりを進める。また、歴史遺産を保存し活かす活動に取り組む市民グループ等との連携・協力を進め、地域の歴史遺産の保存・活用を図る。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	0	5,259	4,454	
需用費			515	556	発掘用品等
委託料			2,579	2,576	市内遺跡発掘調査作業委託等
使用料及び賃借料			1,037	1,038	遺跡調査システムリース料
負担金補助及び交付金			126	248	国指定文化財管理事業補助金等
その他			1,002	36	文化財施設火災保険料等
人件費 B	0	0	37,602	38,834	
職員人工数			3.98	4.25	※令和2年度までの「文化財保護啓発事業」を再編し、「歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業」を統合
職員人件費			28,068	29,335	
嘱託等人件費			9,534	9,499	
合計 C(A+B)	0	0	42,861	43,288	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			3,750	3,750	埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助金
市債					(国1/2・県1/4)
その他			15	22	市政資料等頒布収入
一般財源			39,096	39,516	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	歴史博物館資料保存事業費	C51N	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成13年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				

局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸
---	----------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	歴史資料等の収集・保管を行うことにより地域資産の保存・活用を図り、地域の歴史に根差した文化活動の促進に寄与する。
事業概要	歴史資料を地域資産として保存・活用するため、資料の購入を行う。
実施内容	<p>歴史博物館資料保存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎の歴史にゆかりのある歴史資料等を寄贈・寄託等により収集し保管する。 ・教育振興基金を活用し、歴史博物館に展示・収蔵する資料の購入を行う。 ・令和4年3月末現在の資料収蔵状況…1,616件、27,481点(平成3年度購入実績) <p>備品購入費—山城但馬摂津絵図四舗、江戸幕府老中連署状 消耗品費—ベルベット石鯨ポスター、本心鏡智流真剣他、摂州尼崎源九郎官流、太閤記十段目組上、川村清雄作品と其人物稿本、京都美術協会雑誌、浄瑠璃文句評註、ヴァリエーション・ステップ集第1輯、図書等</p>

②事業成果の点検

目標指標	収蔵資料数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	点		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和元年度	27,200	令和2年度	27,327	令和3年度	27,481
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民からの寄贈等による資料収集を行ってきたため収蔵資料は増加している。 ・令和3年度より教育振興基金を活用し、歴史博物館資料の購入を行っている。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入等による歴史博物館資料の収集を継続的に進めることにより、歴史博物館の展示や収蔵資料の充実を図っていく。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	0	997	1,000	
需用費			612	500	資料購入等
備品購入費			385	500	資料購入等
人件費 B	0	0	4,289	3,874	
職員人工数			0.59	0.59	※令和2年度までの「歴史資料保存公開事業」を再編した
職員人件費			4,289	3,874	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	0	0	5,286	4,874	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	0	0	5,286	4,874	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	歴史博物館展示事業費	C521	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成26年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			

局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸
---	----------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	歴史博物館が所蔵する資料を広く公開し、市民の尼崎の歴史や文化財への関心を高めるとともに、尼崎の魅力発信やシビックプライドの醸成に資する。
事業概要	歴史博物館が所蔵する資料等を活用した特別展・企画展を開催する。尼崎の歴史や文化財に関わるテーマで、他都市博物館等から借用した文化財・歴史資料も活用した特別展を開催し、市内外から多くの来館者を迎え、特別展を通じて本市の深く長い歴史や豊富な文化財をPRする。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○特別展 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回特別展「花開く江戸絵画ー城下にぎわうころにー」 会期:令和3年10月2日～11月30日(51日間)、入館者数10,367人 ○企画展 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回企画展「中世尼崎の武者伝説」「あまいも復活物語」 会期:令和3年4月24日～9月5日(102日間)、入館者数 13,434人 (4月24日～5月11日休館) ・第3回企画展「尼崎城を掘る」 会期:令和3年7月10日～9月5日(50日間)、入館者数 7,322人 ・第4回企画展「むかしのくらし むかしの小学校」 会期:令和4年1月8日～3月27日(68日間)、入館者数11,180人 ○常設展 通年開館(開館日数294日間、うち常設展のみ開催23日間)、入館者数2,868人(常設展開催時のみ)

②事業成果の点検

目標指標	歴史博物館年間入館者数	単位	人						
目標・実績	目標値 50,000	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	24,579	令和3年度	45,171
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言発出に伴う休館もあったが、令和3年度は294日間開館し、歴史博物館入館者は年間合計45,171人であった。 ・特別展1回と企画展3回を計画どおり開催できた。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展は、歴史博物館を代表する催しであり、集客効果も高いので、今後も、他博物館等からの借用資料も活用し、継続的に開催していく。 ・企画展は、歴史博物館が収蔵する資料を活用し、本市の歴史や文化財を観覧者に広くPRするための企画であり、今後も継続的に年間3回程度、開催していく。 ・常設展は、展示内容を定期的に更新しながら、通年で公開していく。 								

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	0	5,885	3,911	
報償費			63	41	講師謝礼
旅費			51	63	旅費
需用費			1,674	1,582	消耗品費・印刷製本費
委託料			4,097	2,225	展示資料運搬列品委託
使用料及び賃借料					
人件費 B	0	0	12,274	11,154	
職員人工数			1.56	1.49	※令和2年度までの「文化財収蔵庫
職員人件費			11,380	10,254	企画展事業」を再編した
嘱託等人件費			894	900	
合計 C(A+B)	0	0	18,159	15,065	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			2,267		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他					
一般財源	0	0	15,892	15,065	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	歴史博物館教育普及事業費	C529	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民と協働で体験学習活動や出土資料の整理作業等を実施し、教育普及活動をすることにより、市民が尼崎の歴史に関心を持ち、地域の歴史に根差した文化活動の促進に寄与する。
事業概要	地域の歴史に関わる各種体験学習活動を市民と協働で実施するなど、教育普及事業を行う。
実施内容	<p>1 歴史博物館市民協働事業(参加者延人数)計606人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財資料保存活用サポートボランティア 284人 ・れきし体験学習ボランティア 322人 <p>2 歴史博物館教育普及事業(参加者延人数)計612人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水曜歴史講座 433人 ・夏休みこども歴史教室 29人 ・体験学習室オープンデイ 150人 ・総合的学習支援(栽培・活用支援)、小学校団体見学 計38校 <p>3 兵庫県博物館協会等会費</p>

②事業成果の点検

目標指標	教育普及事業の参加者延べ人数(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>1,224</td> <th>達成年度</th> <td>令和9年度</td> <th>令和元年度</th> <td>—</td> <th>令和2年度</th> <td>—</td> <th>令和3年度</th> <td>612</td> </tr> </table>	目標値	1,224	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	612		
目標値	1,224	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	612				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <p>市民協働事業、教育普及事業ともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動を制限せざるを得なかったが、継続して活動することができた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働で地域の歴史に根差した、より一層の文化活動の促進に寄与する。 ・当事業に属するボランティアの養成と参画促進、活性化に取り組むとともに市民グループとの協働も図り、市民と共に歩む博物館を創出していく。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	0	354	607	
需用費			108	108	ボランティア活動用消耗品
役務費			36	45	ボランティア保険料
使用料及び賃借料			160	404	駐車場使用料
負担金補助及び交付金			50	50	会費
人件費 B	0	0	8,635	8,173	
職員人工数			1.17	1.32	※令和2年度までの「文化財保護啓発事業」「歴史資料保存公開事業」を統合した
職員人件費			8,635	8,173	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	0	0	8,989	8,780	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	0	0	8,989	8,780	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	あまがさきアーカイブズ推進事業費	C52A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	公文書館法、尼崎市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和46年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	公文書館法の定めるところにより、市の歴史的公文書や古文書等歴史資料を市民共有の地域資源として収集・保存・公開し、市民の利用に供していく。これにより、市民の地域への理解・関心・愛着をはぐくみ、協働による地域づくり、市民社会の実現に資する。
事業概要	尼崎市の歴史的公文書等歴史資料を収集・整理・保存し後世に伝え、市民・研究者等に公開し、活用を図る。
実施内容	<p>[令和3年度末現在、史料所蔵点数] 歴史的公文書・行政資料21,054冊 古文書・近現代文書類2,707件151,762点 その他を含む所蔵点数合計311,644点</p> <p>[令和3年度の実施事項] 公文書の管理等に関する条例等制定・施行及び特定歴史的公文書利用請求制度実施に向けた準備 例年廃棄の歴史的公文書選別・収集、件名目録データ整備、並びに各課保管文書の試行的選別・移管の実施 Web上における古文書類他史料目録データ公開の拡充 市民ボランティアによる整理作業の実施 ボランティア作業実績 149回 のべ186人 (令和2年度実績:78回 のべ84人) 歴史博物館紀要『地域史研究』第121号の発行 600部 学校・図書館・公文書館・博物館等への配布及び頒布</p>

②事業成果の点検

目標指標	年間相談利用人数(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	2,345	達成年度	令和9年度	令和元年度	1,907	令和2年度	1,623	令和3年度	2,293
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・令和2年度には閲覧業務を停止した期間があったが、令和3年度から新型コロナウイルス感染拡大予防に配慮しながら開室した。相談利用(電話・メール等含む)のうち来室利用が増加し令和2年度の約1.5倍(令和2年度:805人→令和3年度:1,236人)を記録するなど、地域研究史料館時代の平成29年度数値である2,345人に近い利用実績を記録することができた。 ・令和4年度から開始する新たな公文書管理制度及び特定歴史的公文書利用請求制度の実施に向けて、条例等の制定、庁内保管文書の試行的選別・移管の実施等、制度開始の準備を進めた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・デジタル・アーカイブ化の準備をボランティアと協働して進めるとともに、アーカイブズ(公文書館機能)の認知度を高め、相談利用につなげるため、ウェブ活用等による新たな情報発信を行うほか、図書館との連携(MLA連携)にも取り組んでいく。 ・史料の保管スペースを確保に努め、史料の整理・見直しを継続する。 ・特定歴史的公文書利用請求制度の運用及び歴史的公文書の選別・移管事務を継続し、公文書館機能の充実を図っていく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	0	2,458	1,750	
需用費			1,194	967	史料購入費、紀要印刷製本費等
役務費			137	138	サーバー回線経費
委託料			186		史料デジタル化経費
使用料及び賃借料			728	361	マイクロフィルムスキャナーリース料等
その他			213	284	原稿料等
人件費 B	0	0	34,664	27,962	
職員人工数			1.89	1.91	※令和2年度までの「史料館紀要発行事業」「史料等整備事業」を統合した
職員人件費			12,995	13,733	
嘱託等人件費			21,669	14,229	
合計 C(A+B)	0	0	37,122	29,712	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他			165	240	市政資料等頒布収入
一般財源	0	0	36,957	29,472	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	田能資料館展示事業費	C532	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和46年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	国史跡に指定されている田能遺跡にみられる弥生文化と他地域との関連・波及状況、弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展などを紹介し、弥生文化の重要性について周知を図ることにより、文化財及び郷土文化に対する市民の関心を高める。
事業概要	田能資料館で、田能遺跡や弥生文化などをテーマとした企画展を開催する。
実施内容	○前期企画展 「チャレンジ★やよい人！ー弥生土器づくりー」 会期：令和3年5月12日～9月19日 観覧者数：11,286人 関連事業：展示解説会、土器のブローチづくり(中止)、土器の文様入りアロマストーンをつくろう
	○後期企画展 「いらっしやい 田能のおうちー弥生時代の復元住居ー」 会期：令和3年10月19日～令和4年3月27日 観覧者数：12,905人 関連事業：展示解説、復元住居でしめ縄リースづくり、田能遺跡で読み聞かせ会

②事業成果の点検

目標指標	田能資料館年間入館者数	単位	人							
目標・実績	目標値	33,000	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	27,307
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況： やや達成できず) ・新型コロナウイルス感染症対策のため、休館や関連事業の制限を行ったため、参加者数は目標値に至らなかった。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持) ・当事業は、令和2年度までの「特別展事業」を「田能資料館展示事業」に再編した。 ・事業参加者数の確保はもとより、より魅力ある内容の展覧会を開催に取り組んでいきたい。									

③事業費

(単位：千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	0	217	300	
需用費			217	300	※令和2年度までの「特別展事業」を再編した
役務費					
委託料					
使用料及び賃借料					
その他					
人件費 B	0	0	2,540	1,431	
職員人工数			0.00	0.00	
職員人件費			0	0	
嘱託等人件費			2,540	1,431	
合計 C(A+B)	0	0	2,757	1,731	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	0	0	2,757	1,731	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	田能資料館教育普及事業費	C53B	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	伊元 俊幸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	弥生文化をより身近なものとして理解するため、古代のくらしを体験できる学習会等の事業を展開して弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展に対する認識を新たに、市民の歴史学習を支援するとともに、文化財に対する関心を高める。
事業概要	田能資料館で、勾玉づくりや石の鋳づくりなどを体験する学習会等を開催する。また、市民ボランティアの育成・運営を行う。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○古代のくらしを体験できる事業を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・勾玉をつくろう(計33人)、弥生土器をつくろう(計20人)、はっぴいたのういん(計110人)、骨について学ぼう(計7人) ・石の鋳をつくってとばそう(中止)、銅剣をつくろう(中止) ○田能遺跡サポーター(市民ボランティア)との協働による事業実施、研修、ボランティア保険の加入 ○出張体験講座・講演(計9回) ○小学校等とのオンライン授業(計7回) ○田能資料館図録の改訂・発行

②事業成果の点検

目標指標	事業参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>340</td> <th>達成年度</th> <td>令和9年度</td> <th>令和元年度</th> <td>—</td> <th>令和2年度</th> <td>—</td> <th>令和3年度</th> <td>170</td> </tr> </table>	目標値	340	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	170		
目標値	340	達成年度	令和9年度	令和元年度	—	令和2年度	—	令和3年度	170				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習会については、新型コロナウイルス感染症対策のため、休館や関連事業の制限を行ったため、参加者数は目標値に至らなかった。こうしたなか、参加人数を減らしての実施や、換気等の配慮から屋外で事業を実施するなどの工夫に取り組んだ。 ・一方、来館ができない小学校等とのオンライン授業に試行的に取り組んだ(計7回)ほか、令和2年度中に在庫が切れた田能資料館図録の改訂・発行を行った。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業は、令和2年度までの「古代のくらし体験学習会事業」「田能遺跡サポーター養成事業」を「田能資料館教育普及事業」に再編した。 ・弥生時代の生活文化を子どもから大人まで学べる貴重な体験学習の場の提供は、田能資料館が開館以来取り組んできた事業であり、今後とも継続的に実施していくことができるよう、田能遺跡サポーターとの協働も含めて取り組みを進めていく。 ・小学校等とのオンライン授業等、来館が難しい状況にあつての教育普及活動の実践に努めていきたい。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	0	689	600	
報償費			90	113	※令和2年度までの「古代のくらし体験学習会事業」「田能遺跡サポーター養成事業」を再編した。
需用費			595	167	
役務費			3	112	
委託料				65	
その他			1	143	
人件費 B	0	0	4,115	2,146	
職員人工数			0.11	0.00	
職員人件費			849	0	
嘱託等人件費			3,266	2,146	
合計 C(A+B)	0	0	4,804	2,746	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	0	0	4,804	2,746	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	「スポーツのまち尼崎」促進事業費	CA1A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成9年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツの全国大会等を誘致することにより、市民のスポーツへの参加意識の高揚と競技力の向上を促進し、「スポーツのまち尼崎」をアピールすることでイメージアップを図る。																											
事業概要	スポーツの全国大会等の誘致及び開催、スポーツのまち尼崎フェスティバルに係る施設使用料の支出、トップアスリートとの交流																											
実施内容	全国大会等の誘致のため、大会主催団体との折衝、関係機関との調整、大会の広報等の業務を行う。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>誘致大会名</th> <th>観戦者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第54回日本女子ソフトボールリーグ1部 第1節 尼崎大会</td> <td>1,660人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(一社)全日本実業団空手道連盟 第1回西日本地区大会</td> <td>500人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>内閣総理大臣杯争奪 第60回記念西日本実業柔道団体対抗大会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>全日本実業団少林寺拳法連盟 設立50周年記念大会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Vプレミアリーグ女子・尼崎大会</td> <td>2,400人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2021年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会 (男子23回 女子13回)</td> <td>0人(無観客開催)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>2021-2022 Wリーグレギュラーシーズン</td> <td>1,208人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>5,768人</td> </tr> </tbody> </table>		誘致大会名	観戦者数	1	第54回日本女子ソフトボールリーグ1部 第1節 尼崎大会	1,660人	2	(一社)全日本実業団空手道連盟 第1回西日本地区大会	500人	3	内閣総理大臣杯争奪 第60回記念西日本実業柔道団体対抗大会	中止	4	全日本実業団少林寺拳法連盟 設立50周年記念大会	中止	5	Vプレミアリーグ女子・尼崎大会	2,400人	6	2021年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会 (男子23回 女子13回)	0人(無観客開催)	7	2021-2022 Wリーグレギュラーシーズン	1,208人		合計	5,768人
		誘致大会名	観戦者数																									
	1	第54回日本女子ソフトボールリーグ1部 第1節 尼崎大会	1,660人																									
	2	(一社)全日本実業団空手道連盟 第1回西日本地区大会	500人																									
	3	内閣総理大臣杯争奪 第60回記念西日本実業柔道団体対抗大会	中止																									
	4	全日本実業団少林寺拳法連盟 設立50周年記念大会	中止																									
	5	Vプレミアリーグ女子・尼崎大会	2,400人																									
6	2021年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会 (男子23回 女子13回)	0人(無観客開催)																										
7	2021-2022 Wリーグレギュラーシーズン	1,208人																										
	合計	5,768人																										

②事業成果の点検

目標指標	全国大会等の観戦者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人																				
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>30,419</th> <th>達成年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和元年度</th> <th>31,045</th> <th>令和2年度</th> <th>2,100</th> <th>令和3年度</th> <th>5,768</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和9年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	30,419	達成年度	令和9年度	令和元年度	31,045	令和2年度	2,100	令和3年度	5,768	令和9年度											
目標値	30,419	達成年度	令和9年度	令和元年度	31,045	令和2年度	2,100	令和3年度	5,768														
令和9年度																							
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、今年度は7大会のうち2大会が中止、1大会が無観客での開催となったが、観戦者は昨年度よりも3,668人の増となった。 新型コロナウイルス感染症対策を講じたことにより、昨年度2大会の開催(うち1大会は無観客)と比較し、今年度は5大会(うち1大会は無観客)開催となった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会等を誘致することにより、市民がトップレベルのスポーツに触れ親しむ機会を提供しており、市民がスポーツをするきっかけや競技力向上につながることから、継続して事業を実施する。 市民の興味・関心の高い大会を新規に誘致することにより、参加者数の増を図る。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、可能な限り安心・安全な大会運営に努める。 																						

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	9,208	5,546	7,674	10,383	
役員費				2	
委託料	5,381	4,606	4,981	5,381	事業委託料
使用料及び賃借料	3,827	940	2,693	5,000	有料公園等施設使用料
人件費 B	470	466	1,776	2,547	
職員人工数	0.06	0.06	0.23	0.40	
職員人件費	470	466	1,776	2,547	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	9,678	6,012	9,450	12,930	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	9,678	6,012	9,450	12,930	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	オリンピックを契機としたスポーツ推進事業費	CA1C
根拠法令	スポーツ基本法	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和2年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	40 保健体育費	
目	15 社会体育費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実

局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	山本 正巳
---	----------	---	---------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	東京オリンピックを契機として、聖火リレー等のイベントに取り組むことで、市民のスポーツへの関心を高め、本市の魅力を国内外に発信する。						
事業概要	聖火リレーの実施、ホストタウン事業の推進、尼崎ゆかりのオリンピック応援事業、スポーツのまち尼崎フェスティバルの拡充を行う。						
実施内容	1 聖火リレーの実施…5月24日に記念公園から尼崎城址公園までのルートで、聖火リレーを実施する。(新型コロナウイルス感染拡大の影響により、尼崎市における聖火リレーは中止となり、代替の点火セレモニーを丹波篠山市において実施した)(委託先)株式会社 ファースト・ニュー (実績)7,719千円						
	2 ホストタウン事業の推進…尼崎スポーツの森において、オリンピック事前合宿を実施するとともに、交流事業を行う。(委託先)あまがさき健康の森株式会社 (実績)1,269千円						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前合宿</td> <td>ウクライナの競泳・アーティスティックスイミング選手団を、7月9日～30日の期間に33名受け入れた。 ベラルーシの競泳選手団を、7月11日～20日の期間に10名受け入れた。</td> </tr> <tr> <td>交流事業</td> <td>練習風景の一般観覧、子ども達からの質問コーナーを実施し、127名の市民が参加した。また、選手団へ日本食によるおもてなしを行った。</td> </tr> </tbody> </table>	実施内容		事前合宿	ウクライナの競泳・アーティスティックスイミング選手団を、7月9日～30日の期間に33名受け入れた。 ベラルーシの競泳選手団を、7月11日～20日の期間に10名受け入れた。	交流事業	練習風景の一般観覧、子ども達からの質問コーナーを実施し、127名の市民が参加した。また、選手団へ日本食によるおもてなしを行った。
	実施内容						
事前合宿	ウクライナの競泳・アーティスティックスイミング選手団を、7月9日～30日の期間に33名受け入れた。 ベラルーシの競泳選手団を、7月11日～20日の期間に10名受け入れた。						
交流事業	練習風景の一般観覧、子ども達からの質問コーナーを実施し、127名の市民が参加した。また、選手団へ日本食によるおもてなしを行った。						
3 尼崎ゆかりのオリンピック応援事業の実施…パブリックビューイングの開催支援及び懸垂幕の設置を行う。(実施団体)尼崎市市民運動推進委員会小田地区推進協議会 (実績)182千円							
4 スポーツのまち尼崎フェスティバルの拡充…元オリンピック選手などトップアスリートによるスポーツ教室を開催する。(新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止となった)(委託先)尼崎市スポーツ振興事業団 (実績)122千円							

②事業成果の点検

目標指標	健康を意識した運動やスポーツを行っている市民の割合	単位	%										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>49.0</td> <th>達成年度</th> <td>令和9年度</td> <th>令和元年度</th> <td>45.8</td> <th>令和2年度</th> <td>45.6</td> <th>令和3年度</th> <td>45.0</td> </tr> </table>	目標値	49.0	達成年度	令和9年度	令和元年度	45.8	令和2年度	45.6	令和3年度	45.0		
目標値	49.0	達成年度	令和9年度	令和元年度	45.8	令和2年度	45.6	令和3年度	45.0				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・ホストタウン事業として、オリンピック選手の練習風景の一般観覧等を実施し、市民にオリンピック選手と身近に交流する機会を提供した結果、健康を意識した運動やスポーツを行っている市民の割合は45%となり、目標値を概ね達成した。</p> <p>・パブリックビューイングを実施する団体への補助金の交付や、本庁舎において懸垂幕を掲出する等、大会に対する機運醸成を図り、市民のスポーツに関する関心を高めることができた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 廃止)</p> <p>東京2020オリンピックが終了したため、事業を廃止する。</p>												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	0	3,145	9,292	0	
報償費			72		記念品購入経費
需用費		1,000	681		聖火リレー・ホストタウン関連広報費等
委託料		2,145	8,428		聖火リレー・交流事業開催等委託料
負担金補助及び交付金			111		パブリックビューイングに係る補助金
人件費 B	0	6,996	9,831	0	
職員人工数		0.90	0.90		
職員人件費		6,996	6,950		
嘱託等人件費			2,881		
合計 C(A+B)	0	10,141	19,123	0	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			1,647		ひょうご地域創生交付金(県1/3)
市債					
その他					
一般財源		10,141	17,476		

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	ふれあいスポーツ推進事業費	CA2A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成12年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	記念公園総合体育館ヘルスエリアに体格に合わせて調節のできるトレーニングマシンや車椅子利用者も利用できるトレーニングマシン等を設置するとともに、トレーニングの実技指導を行うことにより、市民の体力向上や健康の保持増進を図る。
事業概要	トレーニングマシンの設置、トレーニング指導・健康相談等業務の実施
実施内容	<p>1 トレーニング指導等業務…トレーニング指導や利用者の個人プログラムの作成等を行う。 (利用人数)トレーニング室利用人数 59,196人 (委託先)尼崎市スポーツ振興事業団 (実績)30,951千円</p> <p>2 トレーニング機器の設置…トレーニング機器をリース契約し、トレーニング室に設置する。 (実績)3,880千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	トレーニング指導業務の利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	103,916	達成年度	令和9年度	令和元年度	83,345	令和2年度	52,067	令和3年度	59,196
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年4月6日～4月24日、5月12日～7月11日、8月2日～9月30日まで時間短縮営業、令和3年4月25日から5月11日まで臨時休館を行った。令和2年度と比較して時間短縮営業、臨時休館の日数が少なかったことや、令和3年11月にトレーニング機器10台を更新したことなどから、利用人数は昨年度と比べて7,129人増加した。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・トレーニング指導事業は、市民の健康維持や競技力の向上につながり、また誰もが気軽に利用することができる事業であることから、継続して事業を実施する。</p> <p>・令和3年度に引き続き、令和4年度もトレーニング機器を数台更新する予定である。機器の更新及び感染症対策を十分に講じることにより、安心・安全な事業運営を行い、利用者数の回復及び増加を目指す。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	35,284	35,292	34,830	35,831	
委託料	30,951	30,951	30,951	31,489	トレーニング指導等業務委託料
使用料及び賃借料	4,333	4,341	3,879	4,342	トレーニング機器のリース料等
人件費 B	1,331	1,321	849	661	
職員人工数	0.17	0.17	0.11	0.12	
職員人件費	1,331	1,321	849	661	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	36,615	36,613	35,679	36,492	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	36,615	36,613	35,679	36,492	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	生涯スポーツ・レクリエーション事業費	CA31	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成4年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツやレクリエーション活動に親しむ機会を市民に提供することにより、市民の健康の保持・増進に寄与するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の普及・推進を図る。
事業概要	レクリエーション活動の場を提供する月例事業、スポーツ推進委員による指導者の派遣や市内公園での軽スポーツの指導、地区体育館におけるスポーツ用具の貸出を行う。
実施内容	<p>1 月例事業…ジョギングや史跡めぐり等、市民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション事業を実施する。 (参加人数)565人 (委託先)尼崎市レクリエーション協会 (実績)202千円</p> <p>2 スポーツ要請指導…地域団体等からの要請に応じ、スポーツ推進委員による健康づくりのための指導を行う。 (利用人数)224人</p> <p>3 さわやか地域スポーツ活動…スポーツ推進委員により、市内の公園でのスポーツの実技指導を行う。 (参加人数)2,891人</p> <p>4 スポーツ用具貸出…地区体育館においてグラウンド・ゴルフやペタンク等の用具貸出を行う。 (利用人数)1,522人</p>

②事業成果の点検

目標指標	生涯スポーツ・レクリエーション事業の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>11,000</td> <th>達成年度</th> <td>令和9年度</td> <th>令和元年度</th> <td>10,862</td> <th>令和2年度</th> <td>4,144</td> <th>令和3年度</th> <td>5,202</td> </tr> </table>	目標値	11,000	達成年度	令和9年度	令和元年度	10,862	令和2年度	4,144	令和3年度	5,202		
目標値	11,000	達成年度	令和9年度	令和元年度	10,862	令和2年度	4,144	令和3年度	5,202				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <p>・月例事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により、全39回中26回の実施となったが、昨年度に比べ実施回数が増え、参加者数も184人増加した。また、スポーツ要請指導もイベント実施回数が増え、利用人数は194人増加した。</p> <p>・さわやか地域スポーツ活動について、昨年度に続き活動中止期間があったが、新たな種目を取り入れることで参加者数が278人増加した。</p> <p>・スポーツ用具貸出においては、グラウンド・ゴルフ等の貸出に加え、小学校や学校開放運営委員会に対して、ポッチャやキンボール等のニュースポーツ用品貸出の提案を行った結果、昨年度と比べて402人増加した。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・生涯スポーツ・レクリエーション事業は、市民が気軽にスポーツやレクリエーション活動に親しむことができる場となり、生涯スポーツの推進等に必要となるため、継続して事業を実施する。</p> <p>・月例事業において、参加者の増加を図るため、市民のニーズに合わせた新しいコース設定等の検討を行う。</p> <p>・さわやか地域スポーツ活動は、子育て・働く世代の参加を促すため、引き続き小学校にて開催する親子スポーツ教室を行うとともに、普段の公園活動においても新しい種目を定着させ、新規の参加者を増やしていく。</p>												

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	570	836	420	538	
報償費		2	4	18	研修講師謝礼
旅費				34	出張旅費
需用費	314	673	209	220	被服・消耗品費等
委託料	230	150	202	230	端末リース・月例事業委託料
使用料及び賃借料	26	11	5	36	地区体育館使用料
人件費 B	2,503	2,489	2,625	1,763	
職員人工数	0.45	0.39	0.34	0.23	
職員人件費	2,503	2,489	2,625	1,763	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	3,073	3,325	3,045	2,301	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,073	3,325	3,045	2,301	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	市民スポーツ振興事業費	CA3K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭昭和20年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツ指導者の養成や優秀な成績を収めた選手等に対する表彰等、スポーツを行う者を支援する事業を実施することにより、本市のスポーツの推進と競技力の向上を図る。
事業概要	全国大会等に出場する市民に対する激励金の支給、優秀な成績を収めた選手や功績のあった指導者に対する表彰、スポーツ指導者の養成、スポーツ団体の指導者に対する傷害保険の加入事業を行う。
実施内容	<p>1 スポーツ振興激励金事業…全国大会等に出場する市民等に対し、大会区分に応じた激励金を支給する。 (支給人数)311人 (実績)960千円</p> <p>2 スポーツ指導者養成事業…スポーツ指導者の育成のため、大学教授や著名人による講習会等を実施する。 (参加人数)種目別指導者講習会672人、スポーツ指導者講演会中止、スポーツ指導者養成講習会中止 (実績)174千円</p> <p>3 スポーツ指導者傷害保険加入事業…スポーツ団体の指導者を傷害保険に加入させる。 (保険加入人数)294人 (実績)366千円</p> <p>4 スポーツ顕彰事業…優秀な成績を収めた選手や功績のあった指導者に対し表彰を行う。 (1)体育功労者表彰(被表彰者数)3人(実績)110千円 (2)スポーツ特別賞・スポーツ賞(被表彰者数)スポーツ特別賞1団体(30人)・2人、スポーツ賞2人(実績)122千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	スポーツ振興激励金の支給者数等(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	3,787	達成年度	令和9年度	令和元年度	3,217	令和2年度	995	令和3年度	1,314
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興激励金事業は、全国大会出場による申請者が昨年度と比べて176人増加した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ指導者講演会及びスポーツ指導者養成講習会は中止した。 ・種目別指導者講習会は、24種目中13種目の開催に留まったが、参加人数は昨年度と比べて115人増加した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ振興事業は、スポーツを行う市民等を支援する事業であり、市民スポーツの推進を図る上で必要であることから、継続して事業を実施する。 ・スポーツ指導者講演会及び講習会において、現在のスポーツを取り巻く課題に沿ったテーマを検討し、スポーツ指導者の育成を図る。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	2,551	1,122	1,731	2,855	
報償費	1,605	581	1,192	1,880	スポーツ振興激励金等
役務費	364	357	366	385	スポーツ指導者傷害保険
委託料	476	142	157	476	種目別指導者講習会等委託料
使用料及び賃借料	106	42	16	114	有料公園等施設使用料
人件費 B	3,977	4,353	5,174	4,369	
職員人工数	0.56	0.56	0.67	0.57	
職員人件費	3,977	4,353	5,174	4,369	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	6,528	5,475	6,905	7,224	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	6,528	5,475	6,905	7,224	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	スポーツ大会事業費	CA41	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭昭和20年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	各種スポーツ大会の開催等を行い、市民が日頃の練習の成果を発揮する機会と場の確保を行う。
事業概要	各種スポーツ大会の開催及び運営等を行う。
実施内容	<p>1 市民スポーツ祭…4月から9月の期間、野球、陸上競技等23種目のスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)10,992人 (委託先)尼崎市体育協会 (実績)3,007千円 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>2 市長旗・マスターズ選手権大会 (1) 市長旗大会…8月から3月の期間、野球、陸上競技等23種目のスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)12,977人 (実績)4,435千円 (2) マスターズ選手権大会…中高年を対象としたスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)2,191人 (委託先)尼崎市体育協会 (実績)306千円</p> <p>3 兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会…兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会の運営等を行う。 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>4 阪神地区都市対抗駅伝競走大会…阪神地区都市対抗駅伝競走大会の運営等を行う。 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>

②事業成果の点検

目標指標	市民スポーツ祭等の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人							
目標・実績	目標値	41,702	達成年度	令和9年度	令和元年度	37,749	令和2年度	24,911	令和3年度	26,160
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <p>・市民スポーツ祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、委託期間内に大会を完了することが難しい状況であることを踏まえ、開催期間を延長したが、参加者は昨年度と比べ22人減少した。</p> <p>・市長旗選手権大会は、昨年度と比べ802人の増、マスターズ選手権大会は469人の増となった。</p> <p>・兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会及び阪神地区都市対抗駅伝競走大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・スポーツ大会事業は、市民が日頃スポーツを練習している成果を発揮する機会となっており、競技スポーツや生涯スポーツ等の推進に必要となることから、継続して事業を実施する。</p> <p>・市報やホームページ等において、市主催のスポーツ大会に関する情報発信を充実させることにより、大会参加者数の増加を図る。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	10,695	6,343	7,747	9,988	
需用費	48	51	53	53	各種大会事業消耗品費等
役務費		7			駐車場手数料
委託料	2,299	808	958	1,599	市民スポーツ祭事業等委託料
使用料及び賃借料	8,348	5,477	6,736	8,336	有料公園施設等使用料
人件費 B	1,989	2,176	2,625	1,303	
職員人工数	0.28	0.28	0.34	0.17	
職員人件費	1,989	2,176	2,625	1,303	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	12,684	8,519	10,372	11,291	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	12,684	8,519	10,372	11,291	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	学校開放事業費	CA4K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市立学校スポーツ施設の使用に関する規則			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和42年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課、職員課	所属長名	山本 正巳、西川 欣伸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	小・中・特別支援学校のスポーツ施設(グラウンド、体育館及び柔剣道場)を市民に開放することにより、市民スポーツや地域スポーツ活動の推進を図る。
事業概要	小・中・特別支援学校のスポーツ施設(グラウンド、体育館及び柔剣道場)を市民に開放する。
実施内容	<p>1 学校開放運営事業、学校開放業務委託事業…学校スポーツ施設の開放のため、各学校に学校開放職員を配置し、受付業務や施設開放業務を行う。 (利用人数)小学校472,481人、中学校58,829人、特別支援学校1,747人、クラブハウス4,222人 (委託先)尼崎市シルバー人材センター及び学校開放運営委員会 (実績)59,947千円</p> <p>2 学校開放維持管理事業…学校のスポーツ施設の維持管理のため、夜間照明設備の修繕等を行う。 (実績)926千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	学校開放利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人											
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>690,000</td> <th>達成年度</th> <td>令和3年度</td> <th>令和4年度</th> <td>令和元年度</td> <td>689,939</td> <th>令和2年度</th> <td>561,705</td> <th>令和3年度</th> <td>537,279</td> </tr> </table>	目標値	690,000	達成年度	令和3年度	令和4年度	令和元年度	689,939	令和2年度	561,705	令和3年度	537,279		
目標値	690,000	達成年度	令和3年度	令和4年度	令和元年度	689,939	令和2年度	561,705	令和3年度	537,279				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言の発令等により学校開放事業を中止したことで、学校スポーツ施設の利用者数は、小学校で昨年度と比べて28,718人、減少したが中学校で4,224人、特別支援学校で602人増加した。 ・学校開放運営委員会による地域運動会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、すべての学校で中止した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校スポーツ施設の開放は、市民が身近な地域で気軽に運動やスポーツを行える場所となっていることから、継続して事業を実施する。 ・中学校スポーツ施設の利用向上に向け、学校行事等のない曜日や時間帯で中学校スポーツ施設が利用できるよう引き続き検討を進める。 ・学校開放運営委員会に対して、子ども向けのスポーツプログラム等の実施を依頼することで、学校スポーツ施設の利用者数を増加させるとともに、子どもの体力向上を目指す。 													

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	75,446	63,837	60,872	84,677	
報償費				5	
需用費	1,120	1,193	897	1,205	夜間照明設備修繕料等
役務費	28	30	29	30	夜間照明設備等火災保険加入経費
委託料	74,073	61,828	59,946	83,437	学校開放事業等委託料
その他	225	786			現場管理に対する謝金(1校)
人件費 B	7,960	8,205	4,710	4,752	
職員人工数	1.22	1.23	0.61	0.62	
職員人件費	7,960	8,205	4,710	4,752	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	83,406	72,042	65,582	89,429	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	83,406	72,042	65,582	89,429	

令和4年度事務事業シート(令和3年度決算)

事務事業名	体育協会等補助金	CA5K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	昭和32年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市体育協会等に対して補助金を交付し、その活動を支援することにより、市民の健全な心身の発達と豊かな健康づくりを図る。
事業概要	尼崎市体育協会等に対して補助金の交付を行う。
実施内容	<p>1 体育協会補助金…本市の競技スポーツ及び生涯スポーツの推進を担っている尼崎市体育協会に対して、補助金の交付を行う。 (加盟団体)27団体 (会員数)20,711人 (実績)1,405千円</p> <p>2 レクリエーション協会補助金…本市のスポーツ・レクリエーション活動の推進に寄与している尼崎市レクリエーション協会に対して、補助金の交付を行う。 (加盟団体)6団体 (会員数)271人 (実績)250千円</p> <p>3 スポーツ振興事業団…市と一体的に市の政策を推進していく団体に本市OB職員を幹旋し、その報酬等に対する補助金の交付を行う。 (人数)1名 (実績)8,591千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市体育協会等の会員数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人							
目標・実績	目標値	24,338	達成年度	令和9年度	令和元年度	22,521	令和2年度	22,308	令和3年度	20,982
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会等に対して補助金を交付し、スポーツ活動やレクリエーション活動を支援することにより、市民の健康づくりと競技力の向上等を図った。 ・体育協会の会員数は昨年度と比べて1,316人減少し、レクリエーション協会の会員数は10人減少した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各協会を支援することは、競技スポーツや生涯スポーツ等の推進につながることから、継続して事業を実施する。 ・各協会と連携・協力することにより、市民スポーツの推進に取り組む。 ・市主催イベントにおいて各協会の活動内容等の広報を行うことで、市民への周知を図り、会員数の増加へつなげていく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	(参考)令和4年度予算	備考
事業費 A	1,655	10,239	10,246	10,243	
負担金補助及び交付金	1,655	10,239	10,246	10,243	体育協会等補助金
人件費 B	470	463	2,625	7,305	
職員人工数	0.06	0.07	0.34	0.97	
職員人件費	470	463	2,625	7,305	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	2,125	10,702	12,871	17,548	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	2,125	10,702	12,871	17,548	

(このページは白紙です)